

「藤が丘駅前地区再整備基本計画（原案）」（案）に対する  
市民意見募集の実施結果について

1. 市民意見募集実施概要

実施概要	
実施期間	令和3年4月19日（月）～令和3年5月10日（月）
閲覧場所	都市整備局市街地整備推進課 青葉区区政推進課 横浜市ホームページ
意見提出方法	電子メール、郵送、FAX、窓口持参
周知方法	・広報よこはま青葉区版4月号 ・PRボックス（藤が丘地区センター、東急田園都市線藤が丘駅） ・市ホームページ、東急(株)ホームページ、昭和大学ホームページ ・自治会町内会回覧 ・説明会実施（令和3年4月16・17日）

2. 市民意見募集実施結果

意見提出数：67通

意見数：105件

3. 意見の内訳

項目	意見数（件）
駅前広場の計画や歩行者動線・歩行者空間について	15
全体の土地利用、駅前の景観等について	10
病院の建替え計画（公園含む）について	12
藤が丘ショッピングセンターの建替え計画について	14
再整備基本計画の進め方や今後のスケジュールについて	8
商業施設への具体的なご要望・ご提案	23
その他のご意見・ご要望・ご提案	23
合計	105

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とご意見に対する考え方を掲載しています。いただいたご意見については、原則原文のまま掲載しておりますが、誤記や判読できない文字および個人が特定できるような記載が含まれた文章については、一部削除や表現を編集している場合があります。

いただいたご意見とご意見に対する考え方

No.	ご意見	ご意見に対する考え方
1	<p>再整備の意義や考え方、方針等については、特に申し上げる内容はありませぬ。</p> <p>PDFの29頁以後、(3)再整備の考え方として提示されている30頁の図から見て、歩行者の動線の配置と自転車駐輪場へのルートについて意見させていただきます。</p> <p>にぎわい軸として、谷本公園周辺プロムナードを強化するのであれば、この通り沿いに歩行者動線のメインを築いていただきたいと考えています。今の図では、線路側に主な歩行者ネットワークを整備されるように見受けられますが、その機能をプロムナード側に配置することは不可能でしょうか？線路側は勾配もきつく、幼児や高齢者にとって歩きにくい地形です。また、再整備後の病院の影になることも考えられ、日当たりが確保できなければ植栽をしても寂しくなり、散歩に向く雰囲気は得られません。</p> <p>谷本公園周辺プロムナードの通りには、薬局だけでなく、飲食店やケーキ・花等のお店もあります。歩行者通路の要素には、安全で緑豊かであることその他に、お買い物や賑わい・人通りがあり、明るい雰囲気も必要であると考えます。現状のプロムナード沿い、公園前の歩道は狭くなっていますので、ここが広がればプロムナードの賑わいも増えるのでないでしょうか。プロムナード側に歩道を充実させ、線路側は自転車の駐輪場へのルートとしてシンプルに確保していただけると、自転車と歩行者の接触も減り、自転車ユーザーとしても安心感と利便性が得られます。</p> <p>私の意見は</p> <p>①病院を今の案よりも線路側に寄せて頂く</p> <p>②歩行者動線は谷本公園周辺プロムナード側に充実させ、広く、散歩のしやすい、駅前公園へつながる歩道を設置して頂く</p> <p>③線路側には、自転車駐輪場へのルートを確保して頂く</p> <p>この3点です。</p> <p>病院を線路に寄せるとなれば、勾配もあり、工事や設計に工夫が必要かもしれませんが、是非、ご検討頂きたいです。</p>	<p><b>【病院建物の配置について】</b></p> <p>病院建物については、可能な限り線路側（南側）に寄せ、北側への圧迫感を軽減したいと考えており、建替えにあたっては構造上の観点から、南側に最大限寄せて配置した計画としています。一方、病院建物の南側（地上部分）には近隣住民の方々にもご利用いただけるオープンスペースを確保しつつ、オープンスペースの地下空間を活用して救急車や搬出入車、一般車の車路を配置することにより、車両と歩行者の接触をなくし、歩行者の安全性に配慮した計画としています。〈昭科大学〉</p> <p><b>【歩行者動線と歩行者空間について】</b></p> <p>再整備基本計画においては、病院北側の谷本公園周辺プロムナード沿いをにぎわい軸として位置付け、歩道の拡幅を行い安全で快適な歩行者空間を計画しています。また、歩道に沿って病院敷地内にオープンスペースや緑地を設けるとともに、オープンスペースに面してにぎわい・交流施設を配置し、歩行者がにぎわいのある空間を楽しみながら、憩い・安らげるような空間形成を図ります。</p> <p>一方、病院南側は駅前から公園へつながる回遊軸と位置づけ、敷地内に緑地広場を設け、病院と公園の一体的な整備により現況の公園の約2倍の緑豊かなオープンスペースの創出と地域住民の憩いの場となる魅力的な空間づくりを行います。〈昭科大学〉</p> <p><b>【自転車駐輪場へのルートについて】</b></p> <p>病院南側の道路は勾配がありアクセスしづらいため、自転車駐輪場を利用する自転車の動線は現在と同様に、病院建物のメインエントランスに近い北側道路（市ヶ尾173号線）からのアクセスを考えています。また、自動二輪車は南側道路からアクセスする計画とし、自転車と利用動線を区別することで車両どうしの接触がないよう配慮をしています。なお、歩行者の安全性確保については引き続き検討していきます。〈昭科大学〉</p>
2	<p>・駅前地区について</p> <p>新しく住宅もできるということで、家でも楽しめる食料品店を充実させて欲しい。(お惣菜屋やお弁当屋、ケーキ屋など)。また、本屋やカフェなど駅前に憩いの場所を多く設けてほしい。外食のバリエーションも今ほしいと思うので焼肉屋お寿司屋などファミリーにも良い店舗の誘致を希望する。</p> <p>・公園について</p> <p>就学前の小さい子どもも遊べるスペースを設けるなどの年代も安心して遊べる公園にしてほしい。</p> <p>・デッキについて</p> <p>現在病院から駅までの道の歩道スペースが狭く、また病院関係者の方も多く通勤に利用しているため車との距離が近く危ない。病院に行かれる方は車椅子や手足が不自由な方も多いと思うので広い通路、歩きやすいデッキの設置をお願いしたい。</p> <p>・その他</p> <p>全体的に道路が狭く、木があるからか凸凹も多く歩きづらい。デッキ設置場所以外のにぎわい軸の所の歩道も広くしてほしい。</p> <p>今回の再整備の際駅も変わるのであればエレベーターやエスカレーターをより大きいサイズで設置して欲しい。</p> <p>再整備地区の枠には入っていないが、病院前の白萩橋の病院側の方の段差が2段ではあるが段差が高く利用しづらいためバリアフリー化していただけると非常にありがたい。</p> <p>昨年引越しし、再整備の計画を知りとても楽しみにしています。子育てがしばらく続くので子どもに優しい公園やベビーカーの通りやすい道や街になることを期待しています。よろしく願いいたします。</p>	<p><b>【商業・住宅建物の計画について】</b></p> <p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活便利・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p> <p><b>【公園の再整備について】</b></p> <p>公園の再整備については、現在の藤が丘駅前公園の規模や機能を継承しつつ、段差のない平場の空間を中心とし、遊び場や交流・憩いの場、地域活動の場等に利用できるなど地域の皆様が利用しやすい公園になるよう引き続き検討を進めていきます。〈昭科大学〉</p> <p><b>【歩行者空間について】</b></p> <p>今回の計画では、地区全体の歩行者動線は地上レベルを主動線としています。道路と立体的に交差する歩行者デッキなどの整備を行う予定はありませんが、駅前広場については車両と歩行者の交錯を減らす改修を行うとともに、公園・病院街区については、にぎわい軸沿い（市ヶ尾173号線）の歩道を拡幅し、歩道に沿ってオープンスペースを設け、これらを一体的な設えとすることで、安全で快適な歩行者空間を確保します。</p> <p>また、病院の南西側からアクセスする動線を想定し、エレベーター等を配置することで、どなたにもご利用しやすい動線を整備します。〈東急・昭科大学〉</p> <p><b>【藤が丘駅について】</b></p> <p>藤が丘駅については計画区域外となり、駅舎の改修は予定していませんが、鉄道事業者である東急電鉄株式会社にご要望を共有しています。〈東急〉</p> <p><b>【白萩橋の段差解消について】</b></p> <p>病院に近接する白萩橋の段差解消については、再整備に伴って改修することは困難ですが、ご要望については、管理者である青葉土木事務所と共有しています。〈横浜市〉</p>

**3** ・高い建物が2つも計画されているにもかかわらず、影のデータの公表が皆無であった。（商店会からは何度も公の場でのデータの公表を請求しているが、結局、無視されたカタチになった）商店会は毎回回収されている事をすごく不満に思っているながら従っていたのに、今回の意見交換会の場でも公表されず裏切られた気分です。また、その件に関する質問が出ると個別対応、影の位置の高低差を逃げ道にしていたが、低い位置と高い位置の2通りで出せば済む。この点も不誠実さが際立つ対応だった。

・病院は現在の基準で病床数を維持すると、高い建物になるという言い分は分かるが、ショッピングセンターにはそういった高くしなくてはならないという大義名分がない、地権者の利益のためだけに高さを求めている。明らかに地権者の利益づくりを最優先に考えているこれらの計画は、もはや、まちづくりという言葉を利用した（ショッピングセンターの地権者への）利益づくりだ！と感じた。

・上記のような利益づくりのために建物の高さを利用するのではなく、建物の高さを周辺の建物の高さ（7～8階相当）まででおさえ、かつ、それでも利益を出せるような仕組みを考えるべきと考える。（東急からは一言「現実的でない」と即答され誠実さを感じられず拒否されましたが）例えば上層部をペントハウスので豪華にして超富裕層向きに販売する。とか、病院が新しくなると最新の機器や腕の良いドクターが来て、遠くからの入院者が予想されるので、上層階を昭和大学や横浜市が（予算を付けて）買い取る、その遠くから来た入院者の家族が宿泊出来るような施設、または保育所など必要と思われる施設などをつくって運営して行くなどを提案する。

・駅前ロータリーが道端の狭い道路の方に1箇所だけ作られる案が示されていたが、全く現場を知らない人が数字だけを見て、見た目を綺麗に作成したようなロータリー案で、商店会としても地域住民としても到底受け入れられない。ロータリーには絶対に最低でも2箇所の出入り口を設けるべき。第三次救急病院周辺の交通渋滞、また交通渋滞を避けるために裏道を走行する車の往来が激しくなり、歩行者の安全が損なわれる事が容易に予想される。横浜市としてこの計画に絶対にOKしてはならない！

・再整備着工期間中の駐車場が無くなる点に関しての昭和大学側の回答には、問題解決に対して真剣に答えようとする姿勢が感じられず不誠実で、とても理解出来ない返答だった。商店会としてはもちろん、地域住民としてもこの件が不透明なままの着工に、横浜市としてOKを出さないように！

・意見交換会の中で、この件に関して「横浜市は予算を付けていない。今後も予算を付ける予定はない。」という仰天内容があったそうだが、これでは最初から対等な立場の三者協定になっていない。いわば負け戦。IRなんぞや新劇場のような無くても生活に困らないハコモノばかりに予算を付けず、キチンと生活に生きたまちづくりの部分に予算を回すべき！

・そもそも蓋を開ければほぼ現状の模型等が仕上がっていたりして出来レース感が否めず、これまでの藤が丘駅前再整備の進め方が『市民と協働で進めるまちづくり』という市や区のまちづくり計画プランの指針にきちんと沿っているとは評価できず遺憾に思っています。

**【計画建物による日影について】**  
計画建物については、容積率や高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影の影響が生じますが、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないように配慮しています。日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行います。

また、計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただきます。（東急・昭和大学）

**【商業・住宅建物の高さ】**  
鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。

加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。

前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。

なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。（東急）

**【駅前広場の再整備について】**  
駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。（東急）

**【工事期間中の病院駐車場について】**  
来院者の利便性を踏まえると、工事期間中も来院者用駐車場を確保したいと考えていますが、用地確保の観点から十分な台数を確保することは困難な状況です。今後、少しでも確保できるよう検討していきます。（昭和大学）

**【まちづくりへの補助について】**  
横浜市では、鉄道駅周辺のまちづくりについては、横浜市中期計画2022-2025において規制誘導手法を活用し、民間の活力を活かしたまちづくりを進めるとしています。この上位方針を踏まえ、藤が丘駅周辺における各施設の再整備を契機と捉え、民間活力を活用して駅前広場や歩行者空間等の整備・改善、多様な働き方や暮らし方を支える機能の誘導及びにぎわいの創出などにより、持続可能な魅力ある生活拠点の形成に取り組んでいます。（横浜市）

**【再整備基本計画策定の進め方について】**  
再整備基本計画の検討にあたり、これまでワークショップの開催や市民意見募集、説明会の実施など皆様のご意見を聴く機会を設け、いただいたご意見等を踏まえながら検討を進めてきました。また、ご意見を伺うコミュニケーションの場として藤が丘ショッピングセンター内に「藤が丘まちづくりステーション」を開設しました。今後も本計画の周知を図りご意見を踏まえながら、藤が丘駅周辺の個性や魅力を生かし、地域の皆様が愛着をもって、暮らしやすく住み続けたいと思えるまちづくりができるよう、引き続き三者で取り組んでいきます。（横浜市・東急・昭和大学）

<p><b>4</b></p>	<p>藤が丘駅前の再整備についての案を、いつも楽しみに拝見しております。</p> <p>色々お考えくださりありがとうございます。</p> <p>今回の案は以前よりも具体的で公園のイメージや駅前空間のイメージもごちゃごちゃしておらずとても素敵だと思いました。</p> <p>以下、素人ながら暮らして感じて意見でございます。取り入れていただけましたら幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場について</li> </ul> <p>今現在暮らしていて自転車を止める場所が乱れていると感じています。実際買い物に出掛けて駐輪場を用意して下さっているお店や病院は限られており、子連れで出かけたときに止める場所に困ることが多々あります。</p> <p>ルールを守らずお店の前や歩道に停める方もいらっしゃいますが、青葉台の駅付近のように有料でも歩道やお店を囲うように駐輪場を作っていたら、街の景観も損なわれないのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミについて</li> </ul> <p>駅前公園の中と、近隣のゴミ捨て場の管理については以前から悩ましく思っておりました。</p> <p>駅前公園はお掃除をしてくださる方がいらっしゃいますが、それでもいつも水風船やおやつのごみ、タバコ、ビールの缶、ひどい時はカップ麺の容器などが放置されており、子どもを遊ばせ辛いです。公園によっては保護団体が綺麗に管理しているところもありますが、せっかく今後綺麗な公園を作ってくださっても、またすぐ汚されてしまうのではと心配です。</p> <p>また、近隣のゴミ捨て場ですが、戸建てが多く並ぶ2丁目やつつじヶ丘あたりのゴミ捨て場は、緑のゴミのカゴをきちんと使用し、回収後も当番制でお掃除がされているようですが、一丁目のあたり（やもと公園につながるプロムナードを予定している付近など）は当番制でお掃除をされているとは思えない場所もあります。</p> <p>未だに大きなネットを広げて、そこにゴミが常に散らかっている状態で、最近はカラスもひどいです。</p> <p>整備を機に、ゴミ捨て場の管理を自治体が徹底し、綺麗な街を維持できるよう働きかけたり、使っている方を明確にしたり、掃除のルール化をしていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレについて</li> </ul> <p>公園のトイレやスーパーのトイレが綺麗とは言えず、小さな子どもを連れて入りやすい清潔なトイレと授乳室、オムツ替えスペースをどこかに設けていただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観について</li> </ul> <p>藤が丘のシンボルの藤棚を設けるとのことですが、今現在も藤棚の背景が外観が派手な「すき家」とバックドラックの入っているビルとなっており、藤棚の美しさを感じにくくなっていると思います。今後建設する建物については、緑豊かな街の景観を損なわない色合いをご検討いただきたいです。</p> <p>また、先日桜台の方に向かった際、桜並木に感動いたしました。</p> <p>藤が丘は銀杏並木が中心ですが、足元が毎年大変だと感じます。もしそこを変えられるなら、桜の木をたくさん植えてほしいです。春が来るたびに皆の癒しとなるのではないかと思います。</p> <p>今後の検討の際に少しでも取り入れていただけたらうれしく思います。素人なのに意見を申しまして失礼いたしました。よろしく願い申し上げます。</p>	<p>【自転車駐車場について】</p> <p>公園・病院街区については、現在の市営藤が丘駅自転車駐車場は廃止し、新たに病院敷地内に現状と同等以上の台数・規模の公共用自転車駐車場を整備します。また、病院や生活利便施設の来訪者が利用するための自転車駐車場も病院敷地内に整備する予定です。</p> <p>商業・住宅建物側の自転車駐車場については、今後店舗計画と合わせ、適切な配置を検討します。〈東急・昭和大学〉</p> <p>【公園の日常管理について】</p> <p>現在の藤が丘駅前公園は、青葉土木事務所が維持管理していますが、清掃・除草等の日常管理については公園愛護会等の皆様にもご協力をいただいています。今後、再整備する公園の維持・管理については、管理者である青葉土木事務所と公園愛護会等の皆様のご意見も伺いながら検討していきます。〈横浜市〉</p> <p>【ごみ集積場所について】</p> <p>ごみ集積場所の維持管理については、集積場所をご利用されている方々をお願いしており、掃除当番等のルールづくりや、ネット等の購入や物品管理、清掃美化等も利用されている方々で行っていただいています。ごみ集積場所の維持・管理等についてのご相談がありましたら、資源循環局青葉事務所（電話：975-0025）にご連絡ください。〈横浜市〉</p> <p>【トイレについて】</p> <p>トイレに関するご要望については、三者で共有し、今後検討させていただきます。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p> <p>【景観への配慮について】</p> <p>既存の藤棚については、藤が丘のシンボルでもありますので、再整備後も地域の方々に愛着をもっていただけるよう、適切な配置を検討します。また、建物中低層部は温かみのある色彩や自然素材を使用するなど、緑豊かな藤が丘になじむよう建物デザインや色彩等に配慮します。</p> <p>再整備に伴って、歩道の街路樹の植え替えは予定していませんが、今後の参考とさせていただきます。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p>
<p><b>5</b></p>	<p>①コロナの影響でテレワークが増えてきている状況からマンションよりも戸建て購入を検討される方が多くなってきた為、20代～30代の世代が戸建てで住みたくなるような駅前の商業施設（フードコート、ペーパー用品店、若年層のアパレルショップ、カフェなど）をもっと充実させてほしい。駅前に更なる住宅の導入は必要ないと考える。</p> <p>②バスで遠出が出来るようにバスルートを増やしてほしい。例 ディズニーランド行き、空港行きなど。</p> <p>③駅前に気軽に行く事ができるように駐輪場の設置をお願いしたい。</p>	<p>【商業・住宅建物の計画について】</p> <p>駅前のにぎわい創出のため、建物低層部に商業・業務用途のほか、地域の利便性向上やコミュニティ形成に資する機能の導入し、人々の住み替えや流入を促し、多様な世代が健康で安心して暮らしていける住環境の創出を目指しています。具体的な店舗のご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>また、藤が丘は高齢化が進み、乗降客数も減少しています。持続的なまちの発展のためにも一定程度の住宅供給は必要と考えます。〈東急〉</p> <p>【バス路線について】</p> <p>バスの運行ルートについては、バス事業者である東急バス株式会社とご要望を共有し、今後の参考とさせていただきます。〈東急〉</p> <p>【自転車駐車場について】</p> <p>現在の藤が丘駅自転車駐車場は廃止し、新たに病院敷地内に現状と同等以上の台数・規模の公共用自転車駐車場を整備します。また、病院等の来訪者が利用するための自転車駐車場も病院敷地内に整備する予定です。商業・住宅建物側の自転車駐車場については、店舗計画と合わせ、適切な規模・配置を検討します。〈東急・昭和大学〉</p>
<p><b>6</b></p>	<p>—</p>	<p>—</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">個人が特定される内容を含んでいるため掲載は控えさせていただきます。</p>

<p><b>7</b></p>	<p>藤が丘に住んで20年の住民です。</p> <p>今回の計画を商店会の方に聞いて、ガッカリしています。</p> <p>空が自慢の駅前にショッピングセンター45mと大学病院60mのビルができると聞きました。病院の老朽化は理解しておりますが、高さについては高すぎではないですか？上層階の火事の際、救助できるでしょうか？消防のはしご車は届きますか？</p> <p>またショッピングセンターの45mは単にビルオーナーの利益しか考えられていない傲慢な計画だと思ったからです。市民、住民の意見を無視した計画ではないでしょうか？誰の為の整備？</p> <p>建て替えは理解できますが45メートルする必要性を感じられませんし、今までの藤が丘らしさが失われてしまい愛着も薄れてしまいます。横浜市は市民、住民の代弁者として東急側との交渉を進めていただきたいと切に思います。よろしくお願いします。</p>	<p><b>【病院建物の高さについて】</b></p> <p>藤が丘病院は建物・設備の老朽化が進み、今後も継続して医療サービスを提供し地域医療に貢献するためには、建替による機能更新が必要となります。病院の建替えにあたっては、医療法改正による1病床あたりの必要面積の増加等を考慮した現状と同等程度の医療機能確保や、高度急性期医療に対応するための空間（面積・階高）等の確保、災害拠点病院としての機能確保を図るために現在よりも多くの床面積が必要となります。また、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院を建替えるためには、既存病院を残しながら限られた敷地に先行して新病院を建設し移転する必要があります。限られた敷地の中で必要規模の病院に再整備するため土地の高度利用を図りますが、建物の壁面後退や緑化、建物デザインの工夫等により北側市街地や歩行者空間への圧迫感軽減の配慮を行います。建替え工事期間中も地域医療支援病院、3次救急医療機関、災害拠点病院などの役割を引き続き担い、地域のみなさまが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう検討していきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。〈昭和大学〉</p> <p><b>【商業・住宅建物の高さ】</b></p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。</p> <p>前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。〈東急〉</p> <p><b>【高層建物の消火活動について】</b></p> <p>消防はしご車は、通常建物の10階前後（31m程度）まで届きますが、それ以上の高さを有する建築物には消防はしご車の代替となる非常用のエレベーターや適切な消火設備（スプリンクラーや屋内消火栓等）設置するなど、建築基準法や消防法の基準を満たした設計とします。〈東急・昭和大学〉</p> <p><b>【再整備基本計画策定の進め方について】</b></p> <p>再整備基本計画の検討にあたり、これまでワークショップの開催や市民意見募集、説明会の実施など皆様のご意見を聴く機会を設け、いただいたご意見等を踏まえながら検討を進めてきました。また、ご意見を伺うコミュニケーションの場として藤が丘ショッピングセンター内に「藤が丘まちづくりステーション」を開設しました。今後も本計画の周知を図りご意見を踏まえながら、藤が丘駅周辺の個性や魅力を生かし、地域の皆様が愛着をもって、暮らしやすく住み続けたいと思えるまちであり続けられるよう、引き続き三者で取り組んでいきます。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p>
<p><b>8</b></p>	<p>藤が丘一丁目に50年以上暮らす者です。</p> <p>この度の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（原案）」について以下ご意見申し上げます。</p> <p>1. 駅前噴水モニュメントを是非とも残してもらいたい。</p> <p>藤が丘駅の象徴は、藤棚とともに、駅前の噴水（今は水を止められてしまいました。）とそのモニュメントです。</p> <p>ひと昔前は、周辺各駅前にはそれぞれに趣ある噴水が設置されていましたが、今日までその原型を保っているのはわが藤が丘だけです。</p> <p>家族愛を象徴する（と聞いたような気がします。）その藤が丘の噴水彫刻は、往時から他とは一線を画していたし、現在でもその輝きは失なわれていません。</p> <p>いずれは、ローマ市中の著名な噴水と同じような芸術遺産となるといっても過言ではないでしょう。是非とも撤去されることなく残されることを切に希望します。</p> <p>2. 噴水モニュメントを中心にした駅前広場は全面を歩行者が自由に歩けるフリースペースとしてもらいたい。</p> <p>駅前広場は、バスロータリーを廃し、噴水を中心に高齢者や子供が自由に歩き、走りだせる、歩行者のためのフリースペースとして頂きたい。原案では歩行者の導線確保が謳われていますが、ロータリーに出入りするバス等に導線を分断されている現状が改善しているようには見えません。歩行者は相変わらず一時停止線で止まらない東急バスに横断歩道で引かれる恐怖に晒されなければなりません。歩行者の導線をデッキにしまっっては、高齢者は後ろを歩く人に追い立てられ、子供も流れに沿って前に歩くことしかできません。スマホ歩きは正面からぶつかってきます。是非、歩行者のために開かれたスペースを駅前に作って頂きたい。</p> <p>3. バス、タクシー、自家用車の発着スペースは、駅前広場の外側、北側もしくは東側の道路沿いに設置してもらいたい。</p> <p>車はロータリー内に入ってくる必要はありません。広場の外側に横づけすれば足りる話です。周辺のどこの駅に、駅改札の目の前までバスが入り込んでくるところがあるでしょうか。朝の通勤時などバスから降りた人々が一斉に改札に走りこむので危険です。さながら表参道か溝の口ホーム上の乗り換えダッシュの様相です。</p>	<p><b>【駅前広場の再整備について】</b></p> <p>駅前広場の再整備については、地域交通や周辺の主要道路へのアクセス性を生かした交通ニーズを踏まえて検討しています。今回の計画では、歩行者と車両の錯綜を減らし歩行者の安全性を向上するため、車両の出入口は東側（鴨志田240号線側）に集約して入口と出口の2箇所とし、駅前広場西側と北側道路（市ヶ尾222号線）に沿って快適でゆとりある広場空間と歩行者動線を確保します。また、商業・住宅建物は駅前広場から壁面後退し、その空間を広場として駅前広場と一体的に設えることで、憩いの場や交流の場となるまとまりのあるオープンスペースを創出します。</p> <p>なお、噴水については移設・再稼働の予定はありませんが、モニュメントの利活用や駅前広場内の配置に関するご意見は計画の参考にさせていただきます。〈東急〉</p>

<p><b>9</b></p>	<p>最近の藤が丘ショッピングセンターの老朽化は激しく、シャッター通りに近くなってきており、駅前再開発として総論としては賛成します。しかしながら、以下についてご考慮いただけると幸甚です。</p> <p>1. 沿線開発は鉄道会社にとっては切り離せない、企業戦略である事は理解しますが、沿線は最近のコロナ禍で減ったとはいえ、出通勤の時間帯は慢性的に超過密の乗車率であるのは論をまたないと思います。藤が丘は特に周辺住民が多いので住宅のこれ以上の供給は反対します。</p> <p>2. 藤が丘の基幹施設はアポランと思いますが、駅改札からのアクセスが北口、南口いずれも中途半端なので、この機会に改善すべきと思います。例えばアポランをそのまま残すのであればホームからアポランへ渡れようにもう一つ改札を増やすなど工夫いただきたいです。</p>	<p>【住宅の導入について】</p> <p>田園都市線沿線で、特に藤が丘駅周辺においては、高齢化が進み乗降客数も減少傾向です。持続的なまちの発展のためにも一定程度の住宅供給は必要と考えています。また、駅前のにぎわい創出のため、建物低層部に商業・業務用途のほか、地域の利便性向上やコミュニティ形成に資する機能の導入し、人々の住み替えや流入を促し、多様な世代が健康で安心して暮らしていける住環境の創出を目指しています。</p> <p>なお、藤が丘駅の南側については、計画区域外となるため、鉄道事業者である東急電鉄株式会社とご要望を共有させていただいています。〈東急〉</p>
<p><b>10</b></p>	<p>「藤が丘駅前地区再整備基本計画（案）」に関する要望書</p> <p>本来、駅前が整備されて綺麗になることは喜ばしい事なのですが、この度の横浜市、東急、昭和大学の三者協定による「藤が丘駅前地区再整備基本計画（案）」に関して、地域住民を代表し谷本連合自治会及び藤が丘商店会それぞれで協議した結果、下記の点において意見が合致した為、本計画案に異議を申し立て改善を求める要望書を連盟で提出します。</p> <p>1. 藤が丘駅前ロータリーに関する件</p> <p>現状ある3カ所の車両出入口を、道幅の太い道路ではなく道幅の狭い道路側に道幅の拡張もされないまま1カ所でまとめる案に関しては、駅前周辺の車両混雑を誘発し、さらにその混雑を避けるために裏道（センターライン無し・スクールゾーン）へと迂回する車両が多発する事が容易に予想される事。また、第三次救急病院周辺の車両混雑や地域住民や通学児童の安全が脅かされるような事はあってはならないと考え意義を申し立て、この案を廃止し地元住民や地元商店会の意見のヒアリング調査等を行い皆で協議した上で、最低2カ所以上の車両出入口のあるロータリーの再計画案の策定を要望します。</p> <p>2. ショッピングセンターの商業施設および高層マンションに関する件</p> <p>地上13階（高さ最大45m）という高層建築物が計画されているにも関わらず日陰の地図データの公表がなかった点を問題視しています。事業者は藤が丘駅前特有の地形の高低差をデータの非公表の理由にしていたが、高低のそれぞれのデータを公表する事は出来た筈で非公表の理由にならない。また、意見交換会の場において影の問題を質問した人にもみ返答は個別対応というかたちを取っていたが、その行為は情報の公表を拒み隠蔽しているように受け取れるものであった。藤が丘駅前に45mの建物が出る事は藤が丘の景観を悪化させるとともに、火災などが発生した際にははしご車も届かず安全の確保に問題を生ずる。周辺の建物の高さから鑑み最大でも地上7～8階程度の高さが妥当であると考え、景観面、影の問題、安全性などからの観点からも、建物の高さを低くして再計画をすることを要望します。</p> <p>3. 昭和大学藤が丘病院の高さ60mについて</p> <p>地上14階（高さ最大60m）という高層建築物であるにも関わらず日陰の地図データの公表がなかった点を問題視しています。事業者の説明によると代替え地（現、藤が丘駅前公園）に昭和大学藤が丘病院を建設し現在の病床数を確保した場合、床面積をもとに現建築法で現病床数を確保すると建物の高さは地上14階（60m）になるとの事ですが、根拠を示す資料に乏しく本当に60mもの高さが必要なかが不明瞭です。当該事業者に関与が及ばない第三者機関への見識調査等が必要だと考え要望します。</p> <p>4. 整備計画着工時に駐車場が無くなる問題</p> <p>事業者より着工時周辺に駐車場が無くなるとの説明はあったがそれに対する解決策が示されていない。着工時は工事関係の大型車両の往来が増える等するため、周辺道路への路上駐車は混雑や地域住民の生活や地元商店会の業務に支障をきたす恐れがあり安全面をも脅かしかねない。これを放置してはならないと考え、横浜市から事業者への代替え駐車場の作成指示を要望します。</p> <p>真のまちづくりとは何を作ったかという結果ではなく、どの様に作ったか？というプロセスのことを言うのだと考えます。</p> <p>事業者や再整備計画に掛かる一部の地権者の地益確保のために、地元住民や地元商店会が望んでいない必要以上に高すぎる高層建築物を建設したり、交通調査のみを判断材料にして地元住民や商店会などへのヒアリング調査なども全く行わずに計画された駅前ロータリーを整備するような事は、地元住民や地元商店会の理解を得られている再整備基本計画とはとても程遠いものであると考えます。</p> <p>我々は、愛する藤が丘駅前の「らしさ」ともいえる、空が広く開けて見える視界や風景、のどかで落ち着いた雰囲気などを次世代に残し伝えていく事こそが、この藤が丘駅前にとっての真のまちづくりであると考えます。 。</p>	<p>【駅前広場の再整備について】</p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。〈東急〉</p> <p>【商業・住宅建物の高さ】</p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。</p> <p>前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えております。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。〈東急〉</p> <p>【病院建物の高さについて】</p> <p>藤が丘病院は建物・設備の老朽化が進み、今後も継続して医療サービスを提供し地域医療に貢献するためには、建替による機能更新が必要となります。病院の建替えにあたっては、医療法改正による1病床あたりの必要面積の増加等を考慮した現状と同等程度の医療機能確保や、高度急性期医療に対応するための空間（面積・階高）等の確保、災害拠点病院としての機能確保を図るために現在よりも多くの床面積が必要となります。また、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院を建替えるためには、既存病院を残しながら限られた敷地に先行して新病院を建設し移転する必要があります。限られた敷地の中で必要規模の病院に再整備するため土地の高度利用を図りますが、建物の壁面後退や緑化、建物デザインの工夫等により北側市街地や歩行者空間への圧迫感軽減の配慮を行います。建替え工事期間中も地域医療支援病院、3次救急医療機関、災害拠点病院などの役割を引き続き担い、地域のみなさまが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう検討していきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。〈昭和大学〉</p> <p>【計画建物による日影について】</p> <p>計画建物については、容積率や高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影の影響が生じますが、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないよう配慮しています。</p> <p>日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行います。</p> <p>また、計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただけます。〈東急・昭和大学〉</p> <p>【工事期間中の病院駐車場について】</p> <p>来院者の利便性を踏まえると、工事期間中も来院者用駐車場を確保したいと考えていますが、用地確保の観点から十分な台数を確保することは困難な状況です。今後、再整備の進捗状況を踏まえながら、少しでも確保できるよう検討していきます。〈昭和大学〉</p> <p>【再整備基本計画策定の進め方について】</p> <p>再整備基本計画の検討にあたり、これまでワークショップの開催や市民意見募集、説明会の実施など皆様のご意見を聴く機会を設け、いただいたご意見等を踏まえながら検討を進めてきました。また、ご意見を伺うコミュニケーションの場として藤が丘ショッピングセンター内に「藤が丘まちづくりステーション」を開設しました。今後も本計画の周知を図りご意見を踏まえながら、藤が丘駅周辺の個性や魅力を生かし、地域の皆様が愛着をもって、暮らしやすく住み続けたいと思えるまちづくりができるよう、引き続き三者で取り組んでいきます。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p>
<p><b>11</b></p>	<p>現住民を無視した形の現案に断固反対します。</p> <p>藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>

12	<p>藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p>	意見No10の回答参照
13	<p>「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」に関しまして、以下、藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p> <p>本来、商店会としては地域の人口が増えることや、駅前が整備されて綺麗になることは喜ばしい事なのですが、それ以上に愛する藤が丘の顔ともいえる駅前の空が開けて見える視界や風景、雰囲気、地域のより良い姿・関係性、そして何よりも交通渋滞の無い道路環境や、火災や震災など災害時の被害を最小限に抑える、「住民の安全安心を守る対策」が大事だと考えます。</p> <p>現状の計画を実行するのであれば、建築法などでは合法だが、地域住民の意見には反したまちづくりであるという認識となります。このように地域住民や地元商店会の声や意見が反映されていないような事はあってはならない事と考え以下のように異議を申し立て要望させていただきます。</p> <p>～要望書の内容添付（添付省略）～</p> <p>今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」は、合意形成による市民と協働のまちづくりと謳いながら、最初に答え有りきの同意形成です。まちづくりは何を作ったかという結果ではなく、どの様に作ったか？というプロセスのことを言うのだと考えます。</p> <p>このような形のまちづくりが市内各所で進められている現状に、藤が丘商店会は意義を唱え、横浜市及び関係事業者に対してこのような要望書を提出致します。</p> <p>対案や地元住民意見に対する十分な討議・説明がなされていないまま、計画確定に進んでいるように見受けられる現状は看過できません。</p>	意見No10の回答参照
14	<p>藤が丘住民の声を反映させて下さい。</p> <p>「藤が丘駅前地区再整備基本計画」に関する要望書</p> <p>本来、商店会としては地域の人口が増えることや、駅前が整備されて綺麗になることは喜ばしい事なのですが、それ以上に愛する藤が丘の顔ともいえる駅前の空が開けて見える視界や風景、雰囲気、地域のより良い姿・関係性、そして何よりも交通渋滞の無い道路環境や、火災や震災など災害時の被害を最小限に抑える、「住民の安全安心を守る対策」が大事だと考えます。</p> <p>現状の計画を実行するのであれば、建築法などでは合法だが、地域住民の意見には反したまちづくりであるという認識となります。このように地域住民や地元商店会の声や意見が反映されていないような事はあってはならない事と考え以下のように異議を申し立て要望させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤が丘駅前ロータリーに関する件 <p>現状ある3カ所の車両出入口を、道幅の太い道路ではなく道幅の狭い道路側に1カ所でまとめる案に関しては、駅前周辺の車両混雑を誘発し、さらにその混雑を避けるために裏道（センターライン無し・スクールゾーン）へと迂回する車両が多発する事が容易に予想される。周辺地域住民の安全が脅かされるような事はあってはならないと考え意義を申し立て、この案を廃止し地元住民や地元商店会の意見のヒアリング調査等を行い皆で協議した上で、最低2カ所以上の車両出入口のあるロータリーの再計画案の策定を要望します。</p> </li> <li>・ショッピングセンターの商業施設および高層マンションに関する件 <p>地上13階（高さ最大45m）という高層建築物が計画されているにも関わらず日陰の地図データの公表がなかった点。事業者は藤が丘駅前特有の地形の高低差をデータの非公表の理由にしていたが、高低のそれぞれを公表する形で良い事で、それは非公表の理由にならない。また、意見交換会において影の問題を質問した人には個別対応というかたちを取っていたが、それがまかり通るならば意見交換会を開いた意味をなさない。藤が丘駅前に45mの建物が出来る事は藤が丘の景観を悪化させるとともに、火災などが発生した際にはしご車も届かず安全の確保に問題を生ずる。周辺の建物の高さから鑑み最大でも地上7～8階程度の高さが妥当であると考え、景観面、影の問題、安全性などからの観点からも、建物の高さを低くして再計画をすることを要望します。</p> </li> <li>・昭和大学藤が丘病院の高さ60mについて <p>代替地（現、藤が丘駅前公園）に昭和大学藤が丘病院を建設し現在の病床数を確保した場合、建物を横に伸ばせない為に、上に伸ばし地上14階（高さ最大60m）が必要という事だが、病院建築計画の内容が公表されていないので本当に60mもの高さが必要なのかを事業者に関与が及ばない第三者機関への見識調査が必要だと考え要望します。</p> </li> <li>・整備計画着工時に駐車場が無くなる問題 <p>事業者より着工時周辺に駐車場が無くなるとの説明はあったが、それに対する対策がない。工事関係の大型車両の往来が増えるため路上駐車は混雑や地域住民の生活に支障をきたす恐れがあり、安全面をも脅かしかねない。横浜市はこれを放置してはならないと考え、事業者への代替え駐車場の作成指示を要望します。</p> </li> </ul> <p>今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」は、合意形成による市民と協働のまちづくりと謳いながら、最初に答え有りきの同意形成です。</p> <p>まちづくりは何を作ったかという結果ではなく、どの様に作ったか？というプロセスのことを言うのだと考えます。</p> <p>このような形のまちづくりが市内各所で進められている現状に、藤が丘商店会は意義を唱え、横浜市及び関係事業者に対してこのような要望書を提出致します。</p>	意見No10の回答参照

15	<p>先日説明会が行われた標記計画に関して、日照状況など説明不足があります。藤が丘駅に降り立つ近隣住民として、納得できる計画ではありません。生活環境を保持してこそその都市計画です。カジノ誘致や旧市庁舎跡地の活用など、企業が先導する都市開発しか横浜市は行えないのでしょうか。それとも、そのような視点は持たないことにしているのでしょうか。どちらにしても悲しいことです。3期続いた林市政の悪いところが、私の地元でも噴出したという感じです。高層ビルは、藤が丘には不要です。この基本計画に反対します。</p>	<p>【計画建物による日影について】</p> <p>計画建物については、容積率や高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影の影響が生じますが、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないように配慮しています。</p> <p>日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行います。</p> <p>また、計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただきます。〈東急・昭和大学〉</p> <p>【都市開発の在り方】</p> <p>鉄道駅周辺のまちづくりについては、横浜市中期計画2022-2025において規制誘導手法を活用し、民間の活力を活かしたまちづくりを進めるとしています。</p> <p>また、都市計画の方針の一つである「都市再開発の方針」の中で、藤が丘駅周辺を「規制誘導地区」として位置付けており、機能集積等を中心に地区の特性に応じた土地利用の誘導等を図るものとしています。これら上位方針を踏まえ、藤が丘駅周辺における各施設の再整備を契機と捉え、民間活力を活用して駅前広場や歩行者空間等の整備・改善、多様な働き方や暮らし方を支える機能の誘導及びにぎわいの創出などにより、持続可能な魅力ある生活拠点の形成に取り組んでいます。〈横浜市〉</p>
16	<p>藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます 地域に住む人たちの意見を反映したものでなければならぬと思います</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
17	<p>藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。 住民の意見もきちんと聞いてほしいと思います。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
18	<p>藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
19	<p>藤が丘駅前公園と昭和大学藤が丘病院の再整備位置関係について</p> <p>昭和大学藤が丘病院の再整備位置について再考願います。 医療機能を継続しながらの建て替えという困難さは理解しますが今回の再整備により今後数十年、子供たちの遊び場である公園が病院の裏に移動してしまうことに違和感を感じます。 現在、未就学児とその親は午前中から駅前公園を利用していますが多くの小学生・中学生は学校が終わった放課後、この公園で遊んでいます。子供たちが駅前の大通りを通りかかった時、公園で遊んでいる友達を見つけ合流するそんな日常が失われてしまう計画と考えています。 また、新設の昭和大学藤が丘病院の建物は駅前立地に配慮したデザインとのことですが夕方、子供たちが遊んでいる時間帯に病院建物の影になるような駅前公園は果たして藤が丘住民が再整備を望んでいるのでしょうか。 現在もそうですが藤が丘の駅前交通機能としての駅前ロータリーと駅前公園がセットになって駅の正面改札を出た時の空間としての広がりを感じられる「帰ってきたとホッとできる」街になっています。 一定の緑のゾーンを設けるとか、広いスペースを設けるとかではなく駅前にある公園ということが大切と考えます。 「建替え期間中の病院機能の継続」以外に病院を駅前に移動する理由はあるのでしょうか。重ねてとなりますが、既成事実として再整備がされると今後最低でも数十年はその街で暮らさざるを得ない住民がおります。 計画のご再考をよろしく願いたします。</p>	<p>藤が丘はまちづくり整備後約50年が経過し、機能更新が必要な時期を迎えています。藤が丘駅前の再整備にあたっては、緑豊かな環境や現状のような医療関連施設の集積がみられる藤が丘駅前の特徴を生かし、地域の魅力向上につながるまちづくりを目指して取り組んでいきます。</p> <p>藤が丘病院の建替えにあたっては、現行の医療法等の基準を満たしたうえで現状と同等程度の医療機能を維持し、引続き高度急性期医療への対応、災害拠点病院としての役割を担うことのできる病院を再整備します。</p> <p>一方、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するためには、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。</p> <p>公園の整備にあたっては段差のない平場の空間を多く確保し、遊び場や地域活動等、現在の日常的な利用が継続できるよう機能確保を図るとともに、遊具や樹木の適切な配置により園内の見通しや安全性に配慮します。駅から公園までの動線は、既存歩道を拡幅し安全性・快適性を高めるほか、病院敷地内にもバリアフリーで公園へアクセスできるルートを確保し、回遊性を高める緑豊かな歩行者ネットワークを形成します。また、公園と連続する病院敷地内に既存公園の斜面地のような地形の高低差を活かした、公園と一体的な開放感が得られる空間づくりや、交流・休憩等の多目的な利用ができるオープンスペースを公園に隣接した病院敷地に確保することで「人の往来」が生み出される、まちに開かれた計画とします。</p> <p>今後も地域住民の皆様にあこがれを持っていただけるような公園となるよう、引き続き計画を検討していきます。〈昭和大学・横浜市〉</p>

<p><b>20</b></p>	<p>1. 意見：        一般の「藤が丘駅前地区再整備基本計画原案（案）」の駅前街区のうち、現藤が丘ショッピングセンター跡地に建設予定の「住宅・商業施設」について、高層化に反対し、近隣既存住宅と同程度の高さ制限を設けるよう要望する。</p> <p>2. 理由：        ・一般の藤が丘駅前地区再整備については、藤が丘地区の玄関ともいえる駅前地区における再開発であり、近隣住民への影響も大きく、公益性の高い開発であると認識している。        ・だからこそ、横浜市も共同事業主体となり、ワークショップの開催等を通じ近隣住民の意見を募集するなど、地域一体となった開発計画が進められていると理解していた。        ・しかしながら、今般の「藤が丘駅前地区再整備基本計画」においては公益性の観点から重大な問題がある。        ・駅前広場や昭和大学の建替えについては概ね異存はないが、現藤が丘ショッピングセンター跡地に建設予定の「住宅・商業施設」について、なぜ高層マンションを建設するのかについて、住民にとって理解しがたい。        ・そもそも再開発について、藤が丘地区の利便性や価値向上、住みやすい街づくりを基本方針としながら、高層マンションを建設する必要性が全く感じられないし、近隣住民の意見は無視して強引に進めようとしているとしかみえない。        ・高層マンションを建設する意義について説明会（2021年4月17日開催）において質問したが、納得の得られる説明はなかった。        ・昭和大学病院の建替えについては、限られた土地においてまさに高度利用を行う上で高層化することについては一定の必要性はあると思われるが、「住宅・商業施設」を高層マンションとする理由あみあたらず、地権者等利権をもった一部の者の利潤を極大化するためとしか思えない。        ・一方、高層化することによる景観上の問題（圧迫感、近隣建物との調和）、近隣への日照障害、駅前道路の混雑・渋滞誘発というデメリットは多くあり、近隣住民にとっては当該建設そのものが迷惑な行為である。        ・もちろん、再開発に際しての事業コストをマンション販売（もしくは賃貸）により回収し、一定の利益を得るという行為は否定されるものではないが、高層化せずとも充分な利潤は見込めるものと想定される。        ・仮に高層化しなければ採算に合わないということであれば、その情報を開示し、近隣住民の理解を得るよう努力すべきである。        ・以上より、「住宅・商業施設」については高層化せず、近隣住居と同程度の高さに制限すべきであり、これが受け入れられない再開発計画には反対する。</p>	<p>【商業・住宅建物の高さ】</p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。</p> <p>前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。（東急）</p>
<p><b>21</b></p>	<p>『藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。』        ～要望書の内容添付（添付省略）～</p> <p>今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」は、合意形成による市民と協働のまちづくりと謳いながら、最初に答え有りきの同意形成です。まちづくりは何を作ったかという結果ではなく、どの様にしたか？というプロセスのことを言うのだと考えます。</p> <p>このような形のまちづくりが市内各所で進められている現状に、藤が丘商店会は意義を唱え、横浜市及び関係事業者に対してこのような要望書を提出致します。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
<p><b>22</b></p>	<p>最近、武蔵小杉から藤が丘に引っ越して来た子育て世代です。以下、再整備基本計画について意見になります。</p> <p>・子育て世代が気軽に利用できる飲食店を駅前に設置して欲しい        例 かつば寿司、トリトン、サーティワンなど</p> <p>・駅前に買い物ができるアパレルがないため設置してほしい        例 ZARA、ビームス、アカチャンホンポなど</p> <p>本計画の目的は、駅前にマンションを建築することを考慮すると、新たな方が住みたくなる街づくり&amp;病院の再整備だと理解しています。その前提で申し上げますと、今の子育て世代が住む場所として選択する要因は大きく2つあります。</p> <p>①都内への通勤が便利        ②子育てに必要なお店が駅前に揃っている        ①は無理にしても②は今回の再整備で少しでも考慮していただけたら幸いです。</p>	<p>【商業・住宅建物の計画について】</p> <p>子育て世代を含む多様な世代が健康で安心して暮らしていける住環境の創出を目指し、建物低層部には商業・業務用途のほか、地域住民の利便性向上やコミュニティ形成に資する機能の導入します。なお、具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>

<p><b>23</b> 青葉台ではない、藤が丘病院だけではない、藤が丘住民目線も含めた計画立案をおねがいします。</p> <p>藤が丘地域のコミュニティーがここまで形成できたのは駅前公園が駅前に現在の広さで存在したからです。そしてその存在は美しく伸びやかな景観、青葉台駅前では無い、藤が丘らしさを具現化していたからこそ恩恵だったのでは無いでしょうか。</p> <p>原案プランでは、「藤が丘らしさ」が失われているとしか思えません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫感を無くすのは高層建築を駅前前面に出したレイアウトが原因なのでは？または高層建築を極力無くすべきでは？</li> <li>・（公園について）このレイアウト、空間の広さでは、とても「利用しやすい」とは思えない。現在の公園敷地とすべきです。</li> <li>・線路沿いの道は高低差があり回遊軸としては機能しないです。敷地内でフラットな動線を作るのであれば別ですが、“地上レベルを主導線”と設定するのならなおさら機能しません。病院関係者のみの動線です。</li> <li>・公園の利便性は低下。なにをもって「バランス良い」とするのか？回遊性の低い動線計画と「藤が丘の顔」である駅前公園を奥地にレイアウトしたこの配置で、羅列した売り文句は実現するとは思えない。</li> <li>・『公園のような駅』は必要なく、駅前公園が必要。もし「公園のような駅」をプランするのであれば、センター北駅やセンター南駅を見習ってほしい。昭和医大は駅から離れた立地のはず。</li> <li>・（駅前広場の計画案について）とても圧迫感あるイメージ。今まであった広がり感がいっさい踏襲されていない。</li> <li>・本当に病院が藤が丘の顔なのか最高していただきたい。コミュニティー形成の公園が裏になっている。</li> <li>・病院を軸として街を形成するなら、病院の配置は駅から奥にあるべきでは？神社の参道のように「目的地までの商店街、繁華街」という配置関係こそ、自然な人の流れでは無いのか？</li> </ul> <p>レイアウトは現状の配置を踏襲していただきたい。</p> <p>公園は駅前に。藤が丘駅は駅前ロータリーと駅前公園の贅沢な空間使用がブランド力です。</p> <p>梅ヶ丘に住んで47年、藤が丘駅の顔は「駅前公園」と考えます。</p> <p>昭和医大のあるセンター北のような「公園のような駅」でさえ病院は奥の立地です。</p> <p>成功しているセンター南,北駅を参考に再考をお願いします。</p> <p>けして患者の街だけではありません。しっかり住民がいることをお忘れなく。</p>	<p>藤が丘はまちづくり整備後約50年が経過し、藤が丘病院や藤が丘ショッピングセンターなどの各施設の老朽化が進み、機能更新が必要な時期を迎えています。藤が丘駅前の再整備にあたっては、緑豊かな環境や現状のような医療関連施設の集積がみられる藤が丘駅前の特徴を生かし、地域の魅力向上につながるまちづくりを目指して取り組んでいきます。</p> <p>藤が丘病院の建替えにあたっては、現行の医療法等の基準を満たしたうえで現状と同等程度の医療機能を維持し、引続き高度急性期医療への対応、災害拠点病院としての役割を担うことのできる病院の再整備を計画します。</p> <p>一方、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するためには、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。</p> <p>ご意見の通り、藤が丘駅前公園も藤が丘を象徴する施設の1つであると認識しており、移転後の公園についてもアクセス性や利便性に最大限配慮するとともに、病院敷地内のオープンスペースと一体的に整備することでより皆様にご利用いただきやすい環境整備を図ります。</p> <p>今後も地域住民の皆様にあこがれを持っていただけるような公園となるよう、引き続き計画を検討していきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>〈昭和大学・横浜市〉</p>
<p><b>24</b> 貴素案をネットで拝見。雄大な構想と感心いたしました。</p> <p>確かに昭和の病院は建物はだいぶ古くなり、機能的にも不具合が出てきているようですから、計画は時宜に合ったものと敬意を表します。</p> <p>敢えて私見を申し上げれば、二つの巨大建築物に較べて公園の位置が後退してしまっている点、また駅名の由来である藤の木の復活に触れた記述がない点、この二つが気になります。</p> <p>喧噪と空気汚染の東京から静かな当地へ移ってきた者としては、駅前が全国ブランドのチェーン店中心の商業地区となってしまうのではと懸念いたします。</p> <p>以上縷々申し述べましたが、全て杞憂であれば幸いです。</p>	<p><b>【公園】</b></p> <p>藤が丘病院は、横浜北部地域の中核的な病院として、建替えにあたり現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するため、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。藤が丘公園は移転が生じますが、移転後の公園についてもアクセス性や利便性に最大限配慮するとともに、病院敷地内のオープンスペースと一体的に整備することでより皆様にご利用いただきやすい環境整備を図ります。</p> <p>今後も地域住民の皆様にあこがれを持っていただけるような公園となるよう、引き続き計画を検討していきます。〈昭和大学・横浜市〉</p> <p><b>【藤の木について】</b></p> <p>藤棚の継承については、藤が丘のシンボルでもありますので、再整備後も地域の方々に愛着をもっていただけるよう、適切な配置を検討します。〈東急・昭和大学〉</p> <p><b>【商業・住宅建物の計画について】</b></p> <p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>

25	<p>『藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。』</p> <p>「駅前公園」を「病院裏公園」にするデメリットが大きすぎる。</p>	<p>藤が丘はまちづくり整備後約50年が経過し、藤が丘病院や藤が丘ショッピングセンターなどの各施設の老朽化が進み、機能更新が必要な時期を迎えています。</p> <p>藤が丘病院の建替えにあたっては、現行の医療法等の基準を満たしたうえで現状と同等程度の医療機能を維持し、引続き高度急性期医療への対応、災害拠点病院としての役割を担うことのできる病院を再整備します。</p> <p>一方、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するためには、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。</p> <p>公園の整備にあたっては段差のない平場の空間を多く確保し、遊び場や地域活動等、現在の日常的な利用が継続できるよう機能確保を図るとともに、遊具や樹木の適切な配置により園内の見通しや安全性に配慮します。駅から公園までの動線は、既存歩道を拡幅し安全性・快適性を高めるほか、病院敷地内にもバリアフリーで公園へアクセスできるルートを確認し、回遊性を高める緑豊かな歩行者ネットワークを形成することで、移転後の公園についてもアクセス性や利便性に最大限配慮いたします。また、公園と連続する病院敷地内に既存公園の斜面地のような地形の高低差を活かした、公園と一体的な開放感が得られる空間づくりや、交流・休憩等の多目的な利用ができるオープンスペースを公園に隣接した病院敷地に確保することで「人の往来」が生み出される、まちに開かれた計画とします。</p> <p>今後も地域住民の皆様にあてはまるように愛着を持っていただけるような公園となるよう、引き続き計画を検討していきます。〈昭和大学・横浜市〉</p>
26	<p>青葉区商店街連合会から下記のように要望致します。</p> <p>まず今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画」に関しては《「青葉区まちづくり指針」や田園都市線駅周辺のまちづくりプランを受け、再整備の考え方など、新たなまちづくりに取り組むための方針等を示すものです。》とありますが、駅前ショッピングセンター跡に建てられる予定の商業施設付きマンションや病院の建設については、地域住民や商店会からの意見の募集前にほぼ現在の計画（高さなど）が作られており、地域の声は全く汲まれておりません。</p> <p>駅前の線路沿いで幅の狭い道路沿いに位置する（30mのはしご車では届かない）45mの高層マンションで火災が起きた場合、消火活動はかなり難航して駅前の封鎖や田園都市線の運航停止も必要になると考えますが、横浜市としてどのような消化対策を計画しているのでしょうか。</p> <p>また、現状の計3か所の車両出入口を道幅の狭い側の通りへ1か所にまとめるという駅前ロータリーに関する計画案は、交通調査のみを行ったようですが駅前商店会へのヒアリング調査も一切なされておらず、ただ単に数字上の判断においてのみ作成されていることは明白で、この点においても地域の声は全く汲まれていないと思います。</p> <p>過去、平成31年1月と令和元年9月の2回の「藤が丘駅周辺のミライをみんなで考えるワークショップ」を通じて意見聴取が行われましたが、令和元年9月のワークショップ時には既に藤が丘駅前地区再整備基本計画が出来ており、当計画についての意見聴取を行うもので地元住民の意見を聞くのであればもっと計画立案の段階から、真摯に地域住民の声を聞いて計画を進めるべきだと考えます。</p> <p>このように、現状の藤が丘駅前地区再整備基本計画原案は地元との共生を考えたまちづくりとは名ばかりであると感じ大変遺憾に思います。</p> <p>本来、商店会としては高層物件が出来て地域の人口が増えることは喜ばしい事かと思いますが、それ以上に藤が丘駅前の個性ともいえる空が広く開けて見える夕景、のどかな雰囲気、地域のより良い姿・関係性、そして何よりも交通渋滞の無い道路環境や、火災や震災など災害時の被害を最小限に抑える、「住民の安全安心を守る対策」が大事だと考えます。</p> <p>「大規模な地震や天災が頻繁に起こるとも言われるこれからの時代、阪神や東北の震災や豪雨時の武蔵小杉タワーマンションでの災害などを教訓にするべき」という地元住民の忠告を無視したまちづくりを行い、上記の様な有事の災害で二次的被害が起きた際は、本計画を遂行した三者協定の当該事業者が引き起こした人災となると考えます。</p> <p>現状の計画を実行するのであれば、建築法などでは合法だが、地域住民の意見には反したまちづくりであるという認識となります。また、今後青葉区商店街連合会に付属する他の駅前地区などでの再整備計画があった際に、このように地域住民や地元商店会の声や意見が反映されていないような事はあってはならないと考えます。</p> <p>まちづくりとは、「何を作ったか」という物質的結果ではなく、「どの様に作ったか」というプロセスを意味するはずで、権力者や地権者の答えありきの「同意形成」ではなく、地域住民など関わる人達皆が納得する最適解を導き出す「合意形成」であるべきと考えます。</p> <p>そこで横浜市都市整備局、東急株式会社、学校法人昭和大学の事業者方には、再度本計画を見直し、地域住民の意見に耳を傾け、真に住民に寄り添ったまちづくりを行って頂けるよう、強く要望致します。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
27	<p>「藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。」</p>	<p>意見No10の回答参照</p>

<p><b>28</b></p>	<p>私が所有する「青葉区藤が丘●丁目●番地●」の土地建物が、「藤が丘駅前地区再整備基本計画原案（案）」によると昭和大学藤が丘病院が、地上60mの高さの建物が新築されます。</p> <p>現在南側は「藤が丘駅前公園」であり日照は日出より日没まで確保されております。昭和大学藤が丘病院が建設されると日照が、冬至の時は日の出より16時まで日陰になると病院側より説明されました。</p> <p>日照を奪われるのは断固反対いたします。</p>	<p><b>【病院の計画について】</b></p> <p>藤が丘病院は建物・設備の老朽化が進み、今後も継続して医療サービスを提供し地域医療に貢献するためには、建替による機能更新が必要となります。一方、藤が丘病院が担う地域医療支援病院や3次救急病院、災害拠点病院などの役割を維持し、地域のみなさまが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、再整備の際には工事期間中も病院機能を残しながら、新病院を建設する必要があります。</p> <p>また、現在の建物の病室面積や廊下幅が現在の医療法の基準を満たしておらず、建替えにあたっては、医療法改正による1病床あたりの必要面積の増加等を考慮した現状と同等程度の医療機能確保や、高度急性期医療に対応するための空間（面積・階高）等の確保、災害拠点病院としての機能確保を図るために現在よりも多くの床面積が必要となります。限られた敷地で必要な規模の病院に再整備するには、建物の高さも含めた土地の高度利用（高さ60m・容積率400%を上限）を図る必要があります。しかし、北側街区への日影配慮のため、病院建物高層部の壁面後退や可能な範囲で地下空間を活用するなど高さによる影響を抑える配慮に努めていきますので、ご理解の程よろしく申し上げます。</p> <p>今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行いますが、日影の影響が発生しそうな位置にお住いの方には、直接ご説明を行っておりますのでご不明な点等ありましたら、個別に詳しくご説明させていただきます。（昭和大学）</p>
<p><b>29</b></p>	<p>藤が丘駅前開発に関する意見と質問をします。</p> <p>①駅前のショッピングセンターと昭和大学藤が丘病院の新しいビルの高さが高く、景観・ビル風・影の影響が懸念されます。ビルを低くする等対策をお願いします。</p> <p>②駅前ロータリーの開発ですが、図によると出入口が1つようです。その出入口側の道路は道幅も広くなく、路上駐車もあるのでバスが通るには狭いと思われま。また藤が丘駅前交差点の渋滞も懸念されますので、車と歩行者を別の信号にする等検討をお願いします。</p> <p>③防災と防犯はどのように考えていますか。地震や台風対策や防犯カメラ等の設置等を考えているか教えてください。</p> <p>④以前ワークショップでコミュニティバスの提案がありましたはどうなりましたか。藤が丘は坂が多いし、高齢者も多いので検討をお願いします。</p> <p>⑤昭和大学藤が丘病院の駐車場が地下にできるそうですが公園や地域コミュニティの利用者にも使えるのでしょうか。</p> <p>以上多数になりましたが、多くの意見が反映されてより良い開発になるよう祈っています。</p>	<p><b>【計画建物の高さによる景観・風環境・日影の影響について】</b></p> <p>病院については、建物・設備の老朽化が進み、今後も継続して医療サービスを提供し地域医療に貢献するためには、建替による機能更新が必要となります。病院の建替えにあたっては、医療法改正による1病床あたりの必要面積の増加等を考慮した現状と同等程度の医療機能確保や、高度急性期医療に対応するための空間（面積・階高）等の確保、災害拠点病院としての機能確保を図るために現在よりも多くの床面積を必要となります。また、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院を建替えるためには、既存病院を残しながら限られた敷地に先行して新病院を建設し移転する必要があります。限られた敷地の中で必要規模の病院に再整備するため土地の高度利用を図りますが、建物の壁面後退や緑化、建物デザインの工夫等により北側市街地や歩行者空間への圧迫感軽減の配慮を行います。（昭和大学）</p> <p>商業・住宅建物の高さについては、鉄道駅前にはまちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。商業・住宅建物機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など景観への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えております。（東急）</p> <p>ビル風の影響に関しては、現況よりも悪化しないように検討しており、事業者説明会においてご説明予定です。（東急・昭和大学）</p> <p><b>【駅前広場の再整備について】</b></p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。（東急）</p> <p><b>【防災・防犯について】</b></p> <p>藤が丘病院については、建物の主要部分を免震構造とし、大地震後であっても病院機能を継続できる構造を計画しています。また、台風などの災害時であっても災害拠点病院として病院機能が継続できる計画とするとともに、開発区域に相当する規模の雨水調整池等を設置し、台風・大雨時の雨水流出を抑制する対策を行います。</p> <p>商業・住宅建物の耐震性能・耐火性能・消防設備については、建築基準法や消防法の基準を満たした設計とします。</p> <p>防犯対策については、防犯カメラの設置など、各建物内外含め地区全体の防犯体制と合わせて今後詳細を検討します。（東急・昭和大学）</p> <p><b>【コミュニティバスについて】</b></p> <p>コミュニティバス等地域交通の在り方については、地域の交通ニーズを踏まえ、行政とも連携の上、今後検討していきたいと考えています。（東急）</p> <p><b>【病院駐車場について】</b></p> <p>再整備後の藤が丘病院の駐車場の運用方法については今後検討していきます。（昭和大学）</p>

30	<p>先般、当店が事業所を構える青葉台の隣接駅である藤が丘駅周辺の再整備に関するリリースがなされました。今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」は、合意形成による市民と協働のまちづくりと謳いながら、最初に答え有りきの同意形成であること。</p> <p>まちづくりは何を作ったかという結果ではなく、どの様に作ったか？というプロセスのことを言うのだと考えます。このような形のまちづくりが市内各所で進められている現状に、藤が丘商店会が唱えている意義に、全面的に賛同し、市民の一人、また地域で事業所を営む立場から、横浜市及び関係事業者に対してこのような要望書を提出致します。</p> <p>「藤が丘駅前地区再整備基本計画」に関する要望書</p> <p>本来、商店会としては地域の人口が増えることや、駅前が整備されて綺麗になることは喜ばしい事ですが、それ以上に愛する藤が丘の顔ともいえる駅前の空が開けて見える視界や風景、雰囲気、地域のより良い姿・関係性、そして何よりも交通渋滞の無い道路環境や、火災や震災など災害時の被害を最小限に抑える、「住民の安全安心を守る対策」が大事だと考えます。</p> <p>現状の計画を実行するのであれば、建築法などでは合法だが、地域住民の意見には反したまちづくりであるという認識となります。</p> <p>このように地域住民や地元商店会の声や意見が反映されていないような事はあってはならない事と考え以下のように異議を申し立て要望させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤が丘駅前ロータリーに関する件 現状ある3カ所の車両出入口を、道幅の太い道路ではなく道幅の狭い道路側に1カ所でまとめる案に関しては、駅前周辺の車両混雑を誘発し、さらにその混雑を避けるために裏道（センターライン無し・スクールゾーン）へと迂回する車両が多発する事が容易に予想される。周辺地域住民の安全が脅かされるような事はあってはならないと考え意義を申し立て、この案を廃止し地元住民や地元商店会の意見のヒアリング調査等を行い皆で協議した上で、最低2カ所以上の車両出入口のあるロータリーの再計画案の策定を要望します。</li> <li>・ショッピングセンターの商業施設および高層マンションに関する件 地上13階（高さ最大45m）という高層建築物が計画されているにも関わらず日陰の地図データの公表がなかった点。事業者は藤が丘駅前特有の地形の高低差をデータの非公表の理由にしていたが、高低のそれぞれを公表する形で良い事で、それは非公表の理由にならない。また、意見交換会において影の問題を質問した人には個別対応というかたちを取っていたが、それがまかり通るならば意見交換会を開いた意味をなさない。藤が丘駅前に45mの建物が出る事は藤が丘の景観を悪化させるとともに、火災などが発生した際にははしご車も届かず安全の確保に問題を生ずる。周辺の建物の高さから鑑み最大でも地上7～8階程度の高さが妥当であると考え、景観面、影の問題、安全性などからの観点からも、建物の高さを低くして再計画をすることを要望します。</li> <li>・昭和大学藤が丘病院の高さ60mについて 代替地（現、藤が丘駅前公園）に昭和大学藤が丘病院を建設し現在の病床数を確保した場合、建物を横に伸ばせない為に、上に伸ばし地上14階（高さ最大60m）が必要という事だが、病院建築計画の内容が公表されていないので本当に60mもの高さが必要なのかを事業者に関与が及ばない第三者機関への見識調査が必要だと考え要望します</li> <li>・整備計画着工時に駐車場が無くなる問題 事業者より着工時周辺に駐車場が無くなるとの説明はあったが、それに対する対策がない。工事関係の大型車両の往来が増えるため路上駐車は混雑や地域住民の生活に支障をきたす恐れがあり、安全面をも脅かしかねない。横浜市はこれを放置してはならないと考え、事業者への代替え駐車場の作成指示を要望します。</li> </ul>	意見No10の回答参照
31	<p>今回の計画案では、藤が丘駅前ロータリーについて、人々の往来の安全性を確保する等の観点から、現在のロータリー出口3カ所のうち、大通りに面した2カ所を封鎖し、横浜銀行側の出口のみとして、出入口を集約するようになっております。横浜銀行側出口の道路の幅も拡張されないとのことですが、あの狭い道路にバスが行き来するとなると交通渋滞が生じるのではないかと懸念しております。昭和大学附属病院も近いことから、緊急車両も多く通る駅前ですので渋滞が発生すると緊急車両も通過しにくくなるのではと危惧しております。</p> <p>また、周囲には保育園や小学校も多く、駅前の公園にも多くの子供が遊びに来ますので渋滞が起こることで、無理な左右折や割り込みが横行するのではないかとも思っております。</p> <p>是非一度、実際に工事に着工する前に、試験的に計画案通りに入り口を一時的に封鎖し横浜銀行側出口のみで交通が可能なのかどうか、特に交通量の多い土日を含めてやっていただきたいです。</p>	<p>【駅前広場の再整備について】</p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。（東急）</p>
32	藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。	意見No10の回答参照

<p><b>33</b> (原案の根本的問題点)</p> <p>原案の考え方は、事業者の利益を最大化した上で、市民にも配慮するという考え方であって、市民の利益が十分に配慮されているとは言えないと考えます。</p> <p>1. 原案の案では、藤が丘駅前公園が人の集まりにくい場所になると考えます。</p> <p>基本計画原案では、現在、駅前であって市民に親しまれ、様々な地域イベントも行われている藤が丘駅前公園が人の集まりにくい病院の背後の坂を登った場所に移転することになっており、公園としての価値が著しく毀損されてしまう。</p> <p>2. 原案の案では、藤が丘らしい、空の広がる風景が失われると考えます。</p> <p>基本計画原案では、駅前が高層ビルの谷間になってしまい、藤が丘らしい、駅前に大きく空の広がる貴重な風景が喪われてしまう。(本提案の提示する解決策)</p> <p>藤が丘北口エリアを一体的に整備することで、市民、昭和大学藤が丘病院、鉄道事業者、地権者、地元事業者にとってウィン・ウィンの配置を実現する。</p> <p>市民にとって重要な駅前公園を中心に配置することで市民にとっても事業者にとっても望ましい、次世代に誇れる街をつくる。</p> <p>1. 昭和大学付属病院は素案の通り、現在の駅前公園の位置に移転。  2. 駅前公園を現在の駅前広場（ロータリー）の位置に移転  3. 駅前広場を現在のショッピングセンターの位置に移転  4. ショッピングセンターを新病院の低層部に移転  5. ショッピングセンターの余った容積率で新病院の東側に住宅棟を建設。</p> <p><b>【整備手法】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区計画＋区画整理事業（or再開発事業） 駅前の2種住居（容積率200%）を容積率300%に緩和</li> <li>• 公共貢献として、新病院の低層棟に市民活動支援施設を整備</li> </ul>	<p>藤が丘病院は、横浜北部地域の中核的な病院として、建替えにあたり現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するため、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。</p> <p>公園の整備にあたっては、段差のない平場の空間を確保し、遊び場や地域活動等の現在の日常的な利用が継続できるよう機能確保を図ります。</p> <p>駅から公園までの動線は、既存歩道を拡幅し安全性・快適性を高めるほか、病院敷地内にもバリアフリーで公園へアクセスできるルートを確保し、回遊性を高める緑豊かな歩行者ネットワークを形成することで、移転後の公園についてもアクセス性や利便性に最大限配慮いたします。また、公園に隣接する病院敷地のオープンスペースは市民緑地認定制度を活用することにより、公園単体の機能に留まらない多様なアクティビティと人々の交流を促し、相互の価値向上を図り、人と人を結びつけるコミュニティの拠点として整備します。</p> <p>再整備により、建物（病院）の配置が現在よりも駅に近くなりますが、建物デザインの工夫により、圧迫感の軽減や周辺の街並みとの調和を図るとともに、広場や空地などのオープンスペースを設け、歩行者空間の拡張や憩いの空間を創出します。</p> <p>駅前広場は、上空の広がりを確保し開放的な駅前空間を継承するため建物は壁面後退して配置し、積極的に緑化することで広場全体を豊かな緑で彩り、藤が丘らしい景観を形成します。</p> <p>今後も地域住民の皆様にあ愛着を持っていただけるようなまちとなるよう、引き続き計画を検討していきます。〈昭和大学・横浜市〉</p>
<p><b>34</b> 『藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。』</p> <p>私は、約20年付き合っている持病があります。そんな経験もあって、</p> <p>■昭和大学～藤が丘駅～近辺の車の流れ～が、通院やお買い物、地域での暮らしができるだけ便利で快適か</p> <p>そういったことがとても気になります。持病があるからこそスケジュールを合わせて、意見交換会に参加させていただきました。</p> <p>意見交換会では、</p> <p>■藤が丘駅前が開けていて静で穏やかな駅前。便利を優先するより、この藤が丘らしさを残したい……………</p> <p>と言う意見が多く、この地域に20年住んでいる私も同じ気持ちでしたので多くの方がそう思うのだなぁと嬉しく思ったものでした。</p> <p>計画素案を拝見しますと駅前には、15階建て最大45メートルの住宅が建設されるとのこと。全く方向性が違うと思います。</p> <p>そして、意見交換会を開いた意味は？</p> <p>藤が丘に住まう者の意見は、微力なのだなぁ、、、とあきらめかけましたがこのような見直しを求める方法があると知り、たった1人の意見ではありませんけれども、しっかり届けたいと思いました。</p> <p>代表の方がおっしゃる</p> <p>…今回の「藤が丘駅前地区再整備基本計画（素案）」は、合意形成による市民と協働のまちづくりと謳いながら、最初に答え有りきの同意形成です。</p> <p>まちづくりは何を作ったかという結果ではなく、どの様に作ったか？というプロセスのことを言うのだと考えます……</p> <p>プロセスを大事にしたいと言う点について特に同じ意見を持ちます。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
<p><b>35</b> 藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
<p><b>36</b> 藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
<p><b>37</b> 藤が丘駅再開発にあたり現在のショッピングセンターに入っているマザーズは再開発後も是非入居させて頂きますようお願い致します。</p> <p>産地や原料にこだわり身体に良く健康に留意した商品を取り揃えており、他ではなかなか買えないお店で重宝しています。</p> <p>何卒よろしくようお願い致します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活便利・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>

<p><b>38</b></p> <p>〈はじめに〉</p> <p>この度は、藤が丘駅前地区整備において、意見募集の機会をいただき有難うございます。世代も変わりつつあり、町のリノベーションが必要なタイミングのときにこのような計画が進められる事はとても喜ばしいことだと思います。私はワークショップに2回参加させていただき、その後の計画案を拝見し感じたことを簡潔にお伝えしたい所存です。</p> <p>〈ワークショップ運営と内容〉</p> <p>「藤が丘周辺のミライをみんなで考える」ワークショップですが、石塚計画デザインさんにまる投げでしかもワークショップ運営だけの依頼に止めているので、ワークショップで議論された意見が整備計画に反映されたと思えないです。仕事柄、このようなまちづくりのワークショップや住民説明会など知る機会はありませんが、運営方法が前時代的で民主的ではありません。まるでワークショップという名のレクリエーションでした。理由としては、第一回目のワークショップの前に基本計画が完成していたのにも関わらず提示されなかったこと、そして第二回目のワークショップでは一回目に出た意見のうち基本計画に合う意見を然も計画に反映したかのように表現されていました。これは情報操作になりますし不信感を招く状況を運営側が自ら招いているようでした。</p> <p>また、「ミライをみんなで考える」というテーマと裏腹に参加者は中高年の方々を中心でした。会場での説明に、今後の問題点として人口や駅利用客の減少をお話いただきましたが、他地域からの移住者を流入させることも大事ですが、現在、藤が丘在住の子供達のことも重視しなければなりません。彼らが高校を卒業し、大学や社会人となったときにこぞって流出してしまうようでは減少を止めることは出来ません。こういったワークショップに小中高の児童や学生を参加させないことは、「土地への愛着」を促す機会を失うと同然です。大学のない岐阜県高山市は、高校を卒業すると大半の学生が地元を離れ、大多数が名古屋や東京など大都市に移り住んでしまうことの対策として、明治に建てられた町家を利用し、地元の高校生に高山の文化を体感させ愛着を抱かせる活動と仕組みを作りました。実際訪れてみますと、町家にある蔵で遊ぶ子や勉強する子、大人と協働している子など様々で市の取り組みが徐々に浸透している様子が垣間見られました。藤が丘ではこのような文化遺産的な場所も建物もないので、同じような取り組みは難しいですが、代わりこの度の町が変わるこの機会を彼らに参加させる絶好の機会として捉えてもらえないでしょうか？次世代への配慮はディベロッパーではなく自治体が担うべきではないでしょうか？ワークショップ運営のみを外部に発注した弊害がこういった面でも起きております。</p> <p>〈公園〉</p> <p>本計画にある公園の位置については、「公園」というより「空き地」といった印象を拭えません。シームレスな病院機能と効率を優先するあまり、子育て世代が多く利用している駅前公園が安易に配置されているように思われます。町なかの都市公園としては“オープンスペース”で“人の往来”があることが求められます。今回の公園計画ですと、オープンスペースですが、人の往来についてはいかがでしょうか？現在よりも東側に位置されると人の往来は市ケ尾方面の住民に限定されます。整備計画にある谷本公園周辺のプロムナード強化が実現出来れば多少の往来増加につながると思われませんが、残念ながら土地買収は未計画ですし、谷本公園が人を誘引するポテンシャルには期待出来ません。</p> <p>“人の往来”が必要な条件とされる理由としては、“にぎわい”というよりも“安全性”の担保です。以前はよく子供と駅前公園を利用していた私の印象では、買い物途中でも子供だけで遊ばせておけるほど、人の往来や滞在があって安心して利用できました。また、寒い冬場でも西日が注がれて病院の窓ガラスに陽が反射して夕方になっても明るかったです。本計画では高層に近い建物がショッピングセンター跡地のマンションと新病院が公園に対して西側に位置されます。自ずと西日は遮られて影になり今よりも暗くなります。さらに駅から離れることで人の往来が少なくなることから、子育て世代が安心して利用できる公園ではなくなることが予想されます。近年、“オープンスペース”と“人の往来”を達成して評価の高い公園として、豊島区の南池袋公園やニューヨークのハイラインなどありますが、2カ所とも治安に不安がある場所にも関わらず一過性の評価ではなく完成から年月が経ても高い評価を保持しているのはこの要点をおさえているからだと推測されます。公園については再考を強く望みます。</p> <p>〈駅前交通機能〉</p> <p>昭和大学病院は横浜市のみならず川崎市にまたぐ地域病院として重要な病院です。平時の想定ではなく災害時を想定し病院機能を検討してみると、本計画における駅前交通機能の欠陥がみえてきます。</p> <p>病院が駅寄りになることにより、人や車の往来が駅前に集中します。藤が丘北側は東西南北に十字状に道路が整備されていますが、246と接続する南北の道路が災害時に機能を果たせなくなる可能性を危惧しております。246から病院にアプローチするには測道を下る必要があります。渋谷方面下りの場合、年内に大型スーパーが246沿いにオープンし、買い物帰りの車は246へ直接接続せずに、測道を利用するようです。大型スーパーなので利用客が多く見込まれますが、測道と南北のアンダーパスには信号がないため、混雑が予想されます。また、長津田方面上りはどうでしょう。この測道は距離が短く狭い道路です。ここも同じく信号がないため混雑と事故が絶えません。災害時に緊急車両がスムーズに病院にアプローチするには難しい環境です。しかも災害時には南北道路の並木道沿いは電柱の地中化をしていないので、倒れて障害になってしまう可能性もあります。さらに駅前ロータリーが一般車とバス、タクシーが使用するには出入口が一カ所ずつになると慢性的な渋滞が予想されます。</p> <p>〈おわりに〉</p> <p>運営プロセス、公園、交通機能の3点に絞って意見をまとめましたが、お伝えしたいのは、横浜市がもっと住民に寄り添っていただきたい、ということです。現案では、市民の資産である公園を民間企業に提供しただけの住民置き去り案です。調整にご苦労お掛けしますが、再考含めた運営と計画の見直しをお願い申し上げます。</p>	<p>【ワークショップの運営と内容について】</p> <p>平成31年1月及び令和元年9月に開催したワークショップにご参加くださり、ありがとうございました。</p> <p>各施設の施設規模や事業の実現性等からWS等の意見を全て採用することは困難ですが、これまでに頂いたご意見等については、ご要望の趣旨等も踏まえ、できる限り計画に反映させていく予定です。</p> <p>ワークショップの運営方法や進め方が至らなかった点についてのご意見については、今後の参考とさせていただきます。本計画の策定にあたっては、藤が丘駅周辺の個性や魅力を生かし、地域の皆様が愛着をもって、暮らしやすく住み続けたいと思えるまちであり続けられるよう、今後も地域の皆様のご意見を踏まえながら引き続き三者で検討していきます〈横浜市・東急・昭和大学〉</p> <p>【公園の再整備について】</p> <p>藤が丘はまちづくり整備後約50年が経過し、藤が丘病院や藤が丘ショッピングセンターなどの各施設の老朽化が進み、機能更新が必要な時期を迎えています。</p> <p>藤が丘病院は、横浜北部地域の中核的な病院として、現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するためには、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、配置検討においては、各施設の必要な整備条件（機能、規模、継続性）や立地条件（敷地形状や利便性、アクセス性等）等様々な視点から評価・検討を行い、まち全体に一体性があり魅力ある空間を創出したいと考えています。</p> <p>公園の整備にあたっては段差のない平場の空間を多く確保し、遊び場や地域活動等、現在の日常的な利用が継続できるよう機能確保を図るとともに、遊具や樹木の適切な配置により園内の見通しや安全性に配慮します。駅から公園までの動線は、既存歩道を拡幅し安全性・快適性を高めるほか、病院敷地内にもバリアフリーで公園へアクセスできるルートを確保し、回遊性を高める緑豊かな歩行者ネットワークを形成します。また、公園と連続する病院敷地内に既存公園の斜面地のような地形の高低差を活かした、公園と一体的な開放感が得られる空間づくりや、交流・休憩等の多目的な利用ができるオープンスペースを公園に隣接した病院敷地に確保することで「人の往来」が生み出される、まちに開かれた計画とします。</p> <p>今後も地域住民の皆様が愛着を持っていただけるような公園となるよう、引き続き計画を検討していきます。〈昭和大学・横浜市〉</p> <p>【駅前広場の再整備について】</p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。〈東急〉</p>
<p><b>39</b></p> <p>藤が丘駅前の開発の計画があると聞きました。</p> <p>駅前にあるショッピングセンターに、「MOTHERS」のお店があり、自然食品が豊富に揃っていてよく利用しています。</p> <p>開発する事になると、このお店が使えなくなってしまうので、工事の間の買い物が出来なくなるのはとても困ります。</p> <p>工事の間、近所に仮店舗を設置してもらえよう、よろしく願います。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。なお、工事中の対応については、今後の検討していきます。</p> <p>〈東急〉</p>

<p><b>40</b></p>	<p>私は藤が丘の●●沿いに立っております●●というマンションに建設当初から住んでおります。</p> <p>本マンションから駅方向、ランドマークタワーが見える南東方向みなとみらい方面への眺望については、非常に満足しており、この見晴らしのよさ、日当たりのよさが気に入り、このマンションを購入し、併せて藤が丘という落ち着いた街が気に入って毎日生活しております。今回の再開発では現在の藤が丘ショッピングセンターがある場所に商業施設・住宅の高層ビルが建つようですが、私の住んでいるマンションからの南東方向の眺望が大きく損なわれる、変化する可能性を危惧しております。計画書では高さ45m以下の予定とありますが、どれぐらい眺望や日当たりが変わるのか？それとも影響が無いのか？これについては実際に複数の住民が非常に不安に感じております。</p> <p>現在の藤が丘ショッピングセンターの老朽化そしてやや閑散とした状態からの改善が期待されるので建設自体の反対はしませんが、本ビルの建設による駅付近の住人への</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圧迫感の発生</li> <li>・日照権の侵害</li> <li>・眺望の侵害</li> </ul> <p>に十分配慮いただき、できるだけ低い高さのビル、マンション建設をしていただけないものかと思っております。</p> <p>私は現在住んでいるマンション購入時に、購入先のディベロッパーや市と、この眺望を永年確約したわけでもないことは重々承知しており、わたくしの意見は単なる我儘にすぎないのかもしれませんが、新たにできるこのマンションに住む住人だけが眺望の利益を受け、それと引き換えに従来からこの地に住んでいる住民の眺望や日照権などが大きく侵害されることのないよう、そして、住民としてさらに住みやすく、住宅、街の価値向上につながるようマンション建設（特に高さ）の検討についてはご配慮いただきますようお願いいたします。</p> <p>マンションの実際の高さ、階数やどの方向に窓や玄関ができる予定なのか？</p> <p>また計画案を見る限り、隣接する後ろの駐車場エリアまでは建物が立たないようにも見えますがこのエリアもマンション、商業施設ビルの一部となるのか？</p> <p>など、すでに決定されている内容がございましたら、また未定であればいつの時点で決定するのか（いつまで意見が言えるのか）併せてこちらもご教授いただければ幸いです。</p> <p>お忙しいところ大変恐縮ですが一住民の意見として上記ご確認いただき、また最後の質問については返信いただけると非常に助かります。</p>	<p>【商業・住宅建物の高さ】</p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。</p> <p>前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。〈東急〉</p> <p>【計画建物による日影、眺望の影響について】</p> <p>計画建物については、容積率や高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影や眺望の影響が生じますが、日影については、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないよう配慮しています。日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図等を用いてご説明を行います。</p> <p>また、計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影・眺望の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただきます。〈東急〉</p> <p>【藤が丘駅前第2パーキングの部分について】</p> <p>現在の藤が丘ショッピングセンター敷地内にある藤が丘第2パーキングの部分には、機械式駐車場を含む駐車場を想定しており、大きな建物は配置しない計画としています。〈東急〉</p> <p>【今後について】</p> <p>各建物の計画（高さ、階数、出入口位置等）は、再整備基本計画の策定後、事業者説明会を経て、横浜市の都市計画に関する法定手続きが完了した後に決定します。なお、再整備基本計画（原案）公表時の市民意見募集や都市計画手続きの中でご意見をお出しいただけます。〈横浜市・昭和大学・東急〉</p>
<p><b>41</b></p>	<p>1. 高層住宅棟の建設を再考 （理由）次のとおり必然性がない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 藤が丘の地価を考えると今回の計画のような土地の高度利用の必要はない。田園都市線沿線では鷺沼、あざみ野、たまプラーザ、青葉台では商業施設の集積もあり高度利用のメリットがあるが、藤が丘はそれらに比べると劣るし、交通の結節点でもない。</li> <li>○ マンションの俯瞰図が示されていないので断言できないが、デザインで今と同様の広々とした藤が丘らしさが担保できるとは思えない。</li> <li>○ 藤が丘のランドマークとしては昭和医大で十分ではないか。</li> </ul> <p>2. 住宅層に区の便利施設は不要 （理由）藤が丘は徒歩10分以内に地区センター、ケアプラザがあり、さらなる施設を設置し税金を投入するよりも、老朽化した地区センターの改修等により利用率のアップを図るべき。また、利用者は主に余裕のある年配者であり（特にウイークデイ）、教育や若者の貧困対策に税金をまわすべき。</p> <p>3. 駅前公園をもっと広げるべき （理由）現在も多くの利用者がおりにかなり密になっている状況。</p> <p>4. にぎわい軸の形成は、3方向ではなくもえぎ野公園方向に重点的にとりくむべき （理由）藤が丘公園方向、青葉自動車学校方向は奥行きがなくかつ商業施設もないことから回遊を促すべき理由がみあたらない。これに対してもえぎ野方向には住宅地が広がり特徴のある店舗も展開をしていることから、そちらに重点を置くべき。残念ながら、藤が丘の民力を考えると3方向に展開しにぎわうと考えることには無理がある。病院に来院人が回遊するとは考えられない。</p> <p>番外編：地域全体の車の流れをどうするか考えるべき （理由）区としては横浜国道工事事務所の管轄とはいえ国道246号を含めて車の流れをどうコントロールするか考えて積極的に地域住民を巻き込んで国交省に発信してほしい。今でも夕方の交通量の多い時間帯には、246からのランプが短いこともあって本線に渋滞が伸びているし、ランプを歩行者が横断するときも危険である。また、藤が丘駅周辺も車の流れは良くない。今年には三和が営業を開始し交通量の増大が見込まれることもあり、ランプを延長し右左折レーンを設けるとか、246から藤が丘駅までを上下4車線する等の措置を講じないと住民生活に支障を生じないか心配である。</p>	<p>【商業・住宅建物の高さ】</p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。</p> <p>前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。〈東急〉</p> <p>【公園の規模について】</p> <p>再整備する公園は現状と同等以上の面積を確保するとともに、病院の敷地内には公園に隣接してまとまりのあるオープンスペースを設けます。これにより、公園と合わせて現状よりも約2倍の広さの地域に開放された緑豊かな空間を創出します。〈昭和大学〉</p> <p>【にぎわい軸の形成について】</p> <p>病院北側（青葉自動車学校方面）については、市ヶ尾173号線沿いの谷本公園周辺プロムナード形成に寄与するよう、公園・病院前の歩道の拡幅を行うとともに、歩道に沿って病院敷地内に広場を設け、植栽やベンチ等を配置して人が溜まりやすい空間を創出し、人々が交流したり、憩い・安らげる空間を形成します。さらに広場に面してにぎわい交流施設を配置することで、駅前から公園に至る連続したにぎわいを誘導する計画としています。</p> <p>また、藤が丘公園方面の商業・住宅建物前も同様に歩道に沿って人が溜まり・憩える広場を設け、建物低層部の生活利便施設等と合わせて連続したにぎわいを創出します。既に店舗が建ち並ぶもえぎ野方面のにぎわいとあわせて、藤が丘駅周辺において、さらなるにぎわい形成を誘導していきます。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p> <p>【国道246号による渋滞について】</p> <p>国道246号の影響による周辺道路の渋滞の解消については、関係機関に要望をお伝えしていきます。〈横浜市〉</p>

42	<p>マザーズ店は、食の安心安全のみならず、国産というコンセプトで地域の食生活をフォローしてくださっています。近年グローバル化の中で安心安全な食物も輸入に頼ることも多くなっております。ですが、地球温暖化による食物生産量の減少、一国ファースト的な情勢が進む中、将来的に食を輸入に頼ることは困難になります。食糧自給率の圧倒的に低い日本は危機的な食糧難の時代を迎えます。その意味でマザーズ店の提唱する国産、日本の第一次産業を守ろうの方向性は支持していきたく思います。マザーズ店のコンセプトは大切でありまた藤が丘に存在することは街の誇りでもあります。是非とも我が街にマザーズ店を存続させていただきたく思います。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
43	<p>マザーズ藤が丘店を残してください！ オーガニック、安心安全な食品が買えるマザーズは、普通のスーパーとは違う役割を担っており、健康に配慮した無添加の食品が買えるので、ぜひ残して欲しいです。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
44	<p>今後藤が丘駅は、昭和医大を中心としたホスピタルタウンとなっていくことが予想される。したがって、今のコロナや感染症にも対応できる、withコロナのまちづくりのモデルケースとして最先端を意識する必要がある。歩行者動線、回遊動線を意識するのも重要だが、最も必要なのが駅への動線である。具体的には駅への入り口を、北側に新商業施設、駅前広場、昭和大学病院、南側からのホームへの入口も複数用意すべきと思われる。病院側に専用動線を作ることで、医療関係者が混雑に巻き込まれることなく、安心して勤務に向かうことができる。一方、商業施設からもホームへアクセスすることでより回遊動線がスムーズとなる。さらに商業施設側、南側への住人に対しても今以上によりスムーズに駅へアクセスできることとなる。駅の周り365度全ての住人を考慮した駅作りまちづくりを強く願う。</p>	<p>【歩行者動線について】 再整備基本計画では、地区全体の歩行者動線は地上レベルを主動線としています。道路と立体的に交差する歩行者デッキなどの整備を行う予定はありませんが、駅前広場については車両と歩行者の交錯を減らす改修を行い、道路については一部歩道を拡幅することや歩道とオープンスペースを一体的な設えとすることで、安全で快適な歩行者空間を確保します。また、病院南西部にエレベーター等を設置し、病院・公園等から駅前へご利用しやすい動線を整備します。〈東急・昭和大学〉 なお、藤が丘駅については計画区域外となりますが、駅出入口に関するご要望につきましては、鉄道事業者である東急電鉄株式会社にご要望を共有させていただきます。〈東急〉</p>
45	<p>“藤が丘らしさ”問題 “藤が丘らしさ”。このふわとした文言はワークショップの意見の中から導き出されたキーワードのはずだ。 しかし、このワークショップは「藤が丘駅周辺のミライを考えると」銘打って行われた。駅前を含めたより広い地域の問題を話し合う場であったため、駅前地区の再整備とは全く関係ない意見も散見され、本件のワークショップとしてふさわしくない検討会であった。従ってそこから導き出された“藤が丘らしさ”を前提に再整備を行うのは市民の意見を聞いていないに等しいと言えよう。鼻から計画ありきで、カタチばかりのワークショップを行ったに過ぎないと揶揄されても仕方ないであろう。 百歩譲って導き出された“藤が丘らしさ”とは駅を下りると駅前には広い空間と緑があるという意見に集約されていた。しかし、計画のふたを開けてみれば広い空間の前提である駅の真ん前にある公園は喪失し、13階もある商業施設付きマンションが建つということだ。面の空間も高さの空間も喪失している。口当たりの良い空虚な文言をコンセプトに並べ立て、結果的に事業者の思惑通りに事を進めるとは、住民も随分虚仮にされたものだ。</p> <p>駅前街区高層ビル問題 13階建ての建物建造には断固反対する。 駅の真ん前なんかに住居施設が必要であろうか。駅前は公共性の高い施設を配置するのが町作りであろう。マンションでは住んでいる人間以外、公共性を享受できないではないか。 一方で、地権者の権利という面では一定の理解は出来る。だからと言って、13階建てというのは地権者の方々も貪りすぎと言うものだ。彼らが公共空間であるショッピングセンターを数十年にわたり地権者の名の下に台無しにし続けていたのを藤が丘住民が知らないとも思っているのだろうか。一切の努力をすることもなく再整備にともなって得るであろう利益のためだけに惰眠を貪っていたという誹りは逃れまい。 それから、何故か建設後の日影部分と風の強さを示す資料が公開されない。本来なら説明会で提示し、これらを参考に住民の意見を聞くのが当然ではないか。本気で地域住民と話し合う気があるのか甚だ疑わしいと言わざるを得ない。市民と事業者側では情報の格差があるのをいいことに、事業者にとって不利な資料は提出しない方針なのだろうか。</p> <p>提案 ・速やかに日影部分・風に関する資料を駅の半径500メートル圏に住む住民に配布・公開し、正直な対応をすること。 ・高さをせめて藤が丘駅前周辺のマンションの程度に合わせる（7～8階）。なにも建てるなどと言っているわけではない。高すぎると言っているのだ。 ・上階部分を高級化し、収益性を高め、地権者への配分を高める。 ・建物の周囲を“高木”で覆い、改札を下りたときの視線が樹木に行くようにし、高層ビルの圧迫感を軽減する。 ・屋上を市民に開放する。マンションの住民とともに市民も高層の空間を享受できるようにして駅前ビルの公共性を高める。</p>	<p>【藤が丘らしさについて】 ワークショップはこれまで平成31年から2度に渡って開催させていただいており、様々な意見をいただいています。藤が丘らしさとして、駅前の空の広がりや緑豊かな空間や、病院のあるまち、というご意見を多くいただきました。本再整備では、駅前広場に建物を建てない制限をかけ、病院と商業・住宅建物の周辺にはうるおいのある多様なオープンスペースを設け、公園と連続的で一体感のある緑豊かな空間を整備する計画としています。それらの藤が丘らしさを継承しつつ、「豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくり」をまちづくりのテーマとし、駅周辺に「ホッとする」居場所づくり、地域交流機能の充実、快適で歩きたくなるまちを実現していきたいと考えています。〈横浜市・東急・昭和大学〉</p> <p>【商業・住宅建物の高さ】 鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。 加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。 前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状になり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることが危惧されます。本再整備では、現況建物よりも壁面後退を行うことで建物周辺に緑豊かなオープンスペースを設け、植栽を配置する等により、少しでも圧迫感を軽減できるように計画しています。 これらをすべて実現させるためには、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。 なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。 また、建物低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。導入するテナントや植栽等の施設計画については、商業・住宅建物の具体的な設計の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p> <p>【商業・住宅建物による日影・風環境の影響について】 計画建物については、容積率や高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影の影響が生じますが、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないよう配慮しています。 日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行います。 計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただきます。 ビル風の影響に関しては、現況より悪化しないように検討しており、今後事業者説明会においてご説明する予定です。〈東急〉</p>

<p><b>45のつづき</b></p>	<p>駅前街区駐車場問題</p> <p>ショッピングセンターの跡地の高層ビル下2フロアは商業施設が入る予定と言うことだが、説明会では商業施設を訪れる客向けの駐車場設備はまだ考えていないということだった。これでは商業施設に入る店子にとっても商業機会を失うし、客にとっても不便極まりない。何より周辺道路には一時停車が増え、地域住民にとっても迷惑千万な施設となってしまう。</p> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の駐車場と一般客の駐車場とを同時に整備する。</li> </ul> <p>駅前街区駅前広場（ターミナル部分）問題</p> <p>基本計画で上げられた中で愚策中の愚策が駅前のターミナルを改悪する案である。</p> <p>現状では3個所の入り口と2個所の出口があることで結果的にロータリーを形成してスムーズな車の流れを作り上げている。これらの出入口がアットランダムに使用されることでロータリー内と道路の混雑を防いでいるのだ。設計者がこういう結果を意図していたかは不明だが、実によく出来た素晴らしい配置だ。</p> <p>郊外私鉄沿線の住民はほぼ都心への通勤を前提として暮らしている。車両による駅への送迎という作業が生活の一環になっている住民にとって、駅への出入がスムーズであることは非常に利便性が高いといえる。</p> <p>なのに何故か出入口を一個所に集約しようとする。現状で何らかの問題があるとでも言うのだろうか。しかも藤が丘一成合線から一旦脇道に入れるというものだ。全く現状を知らない方が現場を見ることもなく頭の中だけで考えた計画ではないかと疑ってしまう。</p> <p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅より南側の住民にとって不便で、遠回りするか、住居区の中を迂回して駅前に入ることになる。</li> <li>・脇道は藤が丘と青葉台をつなぐ重要な細い道である。ここの流れが止まると救急車も動かなくなるだろう。</li> <li>・246や東名に乗ろうとする車両には迂回する方法がいくらかでもある。藤が丘一成合線を走る車両は主に駅に向かって来るのだ。駅利用の車両を脇道に逃がしたところでさしたる改善にはつながらないどころか、かえって混雑を招来するであろう。</li> </ul> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案を撤回して現状を維持する。</li> <li>・回遊側歩道に樹木は最小限で良い。樹木が必要なのは高層ビルを覆い隠す部位にこそだ。</li> </ul> <p>病院街区駐車場が一時的に喪失する問題</p> <p>説明会では病院利用者向けの駐車場が一定期間なくなるという話であった。これは由々しき事態である。高度医療を担う大学病院に来るのは重症度の高い患者であろう。重傷者というのは得てして自動車を利用するものだ。電車を利用できるのは元気な患者だけだ。つまり、一時的にでも駐車場がない期間が生まれると言うことは高度医療機関としての役割を部分的に放棄していることになる。</p> <p>昭和医大に藤が丘らしさの象徴たる駅前公園を泣く泣く（交換とは言え）譲るのも、高度医療機関としての役割を果たしてもらうために、と納得している。</p> <p>説明会では地域住民が公園の喪失期間を出来るだけ短くするために公園予定地の仮駐車場化は考えていないということだった。しかし、これは本末転倒の話だ。地域住民のことを考えるなら病院の機能役割と駐車場の重要性を丁寧に説明し、一定期間の不便を詫び、仮駐車場の設置の理解に努めるのが本筋である。</p> <p>提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の進捗状況に合わせて仮設の駐車場を設置する。</li> </ul>	<p>【商業・住宅建物の駐車場について】</p> <p>現在時間貸し駐車場としている敷地に、住宅と商業の駐車場をそれぞれ設ける予定です。台数など詳細計画については、商業・住宅建物の具体的な設計の際に調整していきます。（東急）</p> <p>【駅前広場の再整備について】</p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。（東急）</p> <p>【工事期間中の病院駐車場について】</p> <p>来院者の利便性を踏まえると、工事期間中も来院者用駐車場を確保したいと考えていますが、用地確保の観点から十分な台数を確保することは困難な状況です。今後、再整備の進捗状況を踏まえながら、少しでも確保できるよう検討していきます。（昭和大学）</p>
<p><b>46</b></p>	<p>長年、利用しているマザーズは是非残してください。農薬不使用野菜、無添加商品、天然酵母パン等、他に無い商品がたくさんあります。地域住民の健康のためにマザーズは必要なお店だと思います。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>
<p><b>47</b></p>	<p>駅前にある、マザーズ藤が丘店の存続を希望します。</p> <p>10年前からマザーズに通っています。オーガニックスーパーは増えてきていますが、品揃えはダントツです。パン屋さん、魚屋さんもあり、遠方からのお客様も多いのではないのでしょうか？</p> <p>藤が丘はマザーズの他にオーガニックフード取り扱った使ったお弁当屋さんも2件あり、自然派の路面店も増えています。</p> <p>藤が丘がオーガニックの街としても盛り上がってきているところではないのでしょうか。</p> <p>是非、マザーズを存続させてください。よろしく願いいたします。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>
<p><b>48</b></p>	<p>マザーズを日々利用しています。</p> <p>代替え場所で営業するのでしょうか？</p> <p>是非とも残して頂きたいです。それでないと困ります。アレルギーの子を持つ親として、あのお店が無くなったらどこで食材を探せばいいか…途方に暮れます。</p> <p>どうか、残していく方向で進めて下さい。</p> <p>何卒よろしく願いします。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>

<p><b>49</b> 主に藤が丘ショッピングセンターのある商業・住宅開発に関してになります。</p> <p>マザーズという自然食品のお店で毎日のように買い物をしております（コロナ禍のため、現在は週2日程度ですが…）。</p> <p>藤が丘に古くからこのような自然食品のお店があったことを、心から誇りに思っております。</p> <p>できましたら、開発後もマザーズの店舗を入れていただけないでしょうか。</p> <p>また、駅前ショッピングビルのイメージとして、横浜線中山駅の「ビーンズ中山」を考慮に入れていただくことはできますでしょうか。</p> <p><a href="https://beans.jrtk.jp/nakayama/">https://beans.jrtk.jp/nakayama/</a></p> <p>運営はJRのようですが、個人的には店舗などもいいセレクトのように思います。</p> <p>実際、老若男女でいつもにぎわっています。</p> <p>規模も同様かと思しますので、ぜひ参考にさせていただくことを願っています。</p> <p>そして、ぜひとも書店を入れていただきたく思います。</p> <p>沿線からどんどん書店がなくなっていくなかで、やはり知との出会い・体験は現物の本によるものも大きいかと思います。</p> <p>難しければ、ビルの中に中央林間のように図書館を入れていただくなどはいかがでしょう。</p> <p>青葉区に思い入れがあるからこそ、現在の図書館のありようには悲しいものがあります。</p> <p>大和市のシリウスとまでは言いません（できれば最新の大規模図書館がほしいところですが…）。</p> <p>病院や緑が多く、のんびりとした住みやすい藤が丘に、深い文化の拠点というイメージも打ち出せれば、こんなに素晴らしいことはないと思います。</p> <p>小さな意見ですが、ご参考にさせていただきましたら幸いです。</p> <p>藤が丘らしい、テンプレート的ではない、明るく知のある未来を見据えた開発を願っております。</p>	<p>再整備にご理解と、具体的なテナント等のご提案、ご要望をいただきましてありがとうございます。</p> <p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>
<p><b>50</b> 藤が丘駅前計画について、基本的には賛成しておりますが、もう少しこうしたらいいのではという意見をイメージにさせていただきました。</p> <p>【藤が丘駅前再開発のご提案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在案の問題点について <ul style="list-style-type: none"> <li>①矢本公園とのつながり強化案がぼやけている <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒緑化、公園の作り方、あり方が後回しで、空いた空間に作る考え方となっている</li> </ul> </li> <li>②将来人が増えないと感じる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒藤が丘地域として魅力が平凡</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・提案の趣旨として <ul style="list-style-type: none"> <li>街として、人を増やし社会貢献につなげることが大事。</li> </ul> </li> <li>・人が増えるには <ul style="list-style-type: none"> <li>生活のしやすさ、美しさ、ゆとり、旨さ、勉強できる環境、子育てできる安心、病院への安心、空間的魅力がほしい</li> </ul> </li> <li>・人が集まる工夫（いい街と感じさせる工夫） <ul style="list-style-type: none"> <li>●生活のしやすさ <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒人の動線に買い物できる（大型店舗でなく小規模店舗）</li> </ul> </li> <li>●美しさ、ゆとり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒人が頑張っている姿が目に見える環境（運動、子供等）</li> </ul> </li> <li>●旨さ、勉強できる環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒小さな店の点在、コロナ対策できた環境</li> </ul> </li> <li>●子育てできる安心、病院への安心 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒公園を散歩できる動線、病院への通院のしやすさ</li> </ul> </li> <li>●空間的魅力 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒あ、かっこいいと思える何か</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・私見、着眼点 <ul style="list-style-type: none"> <li>そもそも、ショッピングをするなら青葉台にいく（藤が丘に欲しいのは日常のこと）</li> <li>公園、めっちゃ使いにくい。あの位置だといかない。</li> </ul> </li> <li>・案（イメージ図あり。添付省略） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 動線に、手軽に、食品、日用品、食事出来る店を増やす。働き方改革で需要がある。</li> <li>② 公園が駅と離れた一部の地域でなく、流れる公園にしたらどうか。水、緑、芸術の融合で魅力づくり。</li> <li>③ 車の1時間パーキングを点在させたらどうか。朝夕は、駅利用者の送迎の方向を分散化、昼間は、公園・商店利用者向け</li> </ul> </li> </ul> <p>市民の一意見として受け止めていただければ幸いです。</p>	<p>再整備基本計画についてご理解とご提案をいただきありがとうございます。今回の再整備基本計画においては「豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくり」をまちづくりのテーマとし、人々の住み替えや流入を促し、多様な世代が健康で安心して暮らしていける住環境の創出を目指しています。いただいたご意見を参考に今後具体的な計画を検討していきます。（横浜市・東急・昭和大学）</p>
<p><b>51</b> 駅前にあるオーガニックスーパー「マザーズ」は地元で愛されるお店です。</p> <p>営業存続を強く希望します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。（東急）</p>

52	<p>駅前に長年ある『マザーズ』は、オーガニック商品などを中心に、添加物を使用しないことをうたった安心して購入出来る、他には無いとても貴重な存在です！！私達にとって『食』はとても重要です！！再開発後も、マザーズの店舗が消えてしまうことがないように、ぜひ存続させていただくことを希望します！！よろしくをお願いします</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
53	<p>オーガニックスーパーのマザーズを残して欲しいです。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
54	<p>スーパーはたくさんあってもオーガニックにこだわのお店は数少ないので、『藤が丘に、オーガニックのお店、マザーズの存続をお願いいたします』</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
55	<p>この度の藤が丘駅再開発において、駅前にあるスーパーマーケットマザーズの存続を強く希望いたします。マザーズはこの地域では珍しいオーガニック食品を扱っている店舗であり、安全な食品を求める者として、なくてはならないお店であると考えます。何卒よろしく願い申し上げます。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
56	<p>私はマザーズの焼きたてパンが好きでよく買いに行っています。どこの食パンよりもとても美味しいです。また、他のスーパーにはない良質な調味料も多く揃えてあり、とても助かっています。ですので、マザーズがなくなってしまうととても困るので、どうか存続していただけるようよろしく願い致します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
57	<p>藤が丘駅前再開発について、意見を述べさせていただきます。病院を核として公園との一体化は、とてもいいと思います。また、既存の病院を継続しながら、開発するのも結構かと思えます。商業地区については、サステナブルな社会を目指すという意味でも、藤が丘で長年有機食材にこだわったマザーズのような特色のあるお店があることが望ましいと思います。素晴らしい街になることを期待します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
58	<p>家族が青葉区に住む30代の元住民です。匿名で申し訳ございません。青葉区の環境が大好きなので意見のみですが、以下に記します。 ・再整エリアのビル風、日照について 整備案の歩行空間はビル風や日照の影響を考慮したものか。 今までになかったビル風や路面凍結で歩行者が転倒、負傷することがないよう整備していただきたい。（怪我はもちろんビル風で傘が壊れるのは辛い。） ・多世代向けの住宅について 将来、建物が老朽化した際、45mの住宅の解体費用を誰が賄うのか気になった。スクラップアンドビルドに多額の補助金が投入されるのであれば、次世代のために、無理なく対処できる高さや規模間を望む。 分譲か賃貸か定借か分かりかねるが、区分所有者が多ければ多いほど、持続可能な発展に寄与する上での合意形成が大変なのではないかと思った。</p>	<p>【計画建物による日影・風環境の影響について】 計画建物については、容積率と高さを一定程度緩和する計画となっているため、周辺に対し日影の影響が生じますが、建物を集約化・スリム化することで、特定のエリアに長い時間日影が生じないよう配慮しています。日影の影響がある範囲の皆さまには個別にご説明すると共に、今後予定されている事業者説明会において日影図を用いてご説明を行います。また、計画地周辺（藤が丘駅周辺）は土地の高低差があり、やや複雑な地形となっているなど個別の条件が異なりますので、日影の影響についてご不明な点がありましたら、個別に伺って直接ご説明させていただきます。 ビル風の影響については、現況より悪化しないよう検討しており、今後事業者説明会でご説明する予定です。〈東急・昭和大学〉</p> <p>【商業・住宅建物の計画について】 再整備後の建物については、所有権か定期借地権かの所有形態は未定ですが、解体費用は所有者が負担することを原則としています。〈東急〉</p>
59	<p>藤が丘地区再開発について 駅に隣接しているオーガニックスーパーのマザーズを日頃から利用しております。健康を考える上で今後とも存続して欲しいと強く希望しております。宜しく願い致します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
60	<p>マザーズが無くなるかもしれないと聞きしましたが、マザーズはお店は小さくても商品や食品お惣菜お花はスーパーやコンビニエンスストアと違う特徴があり食や健康を大切にされている方々の幅広い年齢層も来られる藤が丘には貴重なお店と感じております。是非、残して頂きたいです。どうぞ宜しくお願い致します。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>

<p><b>61</b></p>	<p>高層マンションは現藤が丘住民の暮らしに多大な影響を及ぼす為反対です。</p> <p>日照、景観を遮り住宅の資産価値を下げます。今の穏やかな生活を壊さないよう低層マンションに変更して下さい。藤が丘には藤が丘の良さがあります。流行りのタワーマンションを建て街並みを変える必要は無いと思います。街のシンボルを必要とするなら昭和大学病院だけでいいと思います。医療従事者の方々が働きやすい建物にしていきたいと思います。</p> <p>ロータリー出入口についても、パチンコ店の前の道に渋滞が起きると、迂回に使われる道の交通量が増え、住宅地での事故が多発する可能性があります。お年寄りや子供、託児所、公園があり道も狭い為、現在でも危ない箇所があります。今のままの出入口を希望します。</p> <p>また、この再開発案について近隣住民に知らない方が多数おります。高齢の方も多く、HPを自ら見る事ができない方もおられます。近隣住民への案の知らせを周知徹底し意見をもっと募るべきだと思います。</p> <p>近隣の方と話しましたが、皆さん案についてご存知ではありませんでした。高層マンションには反対とおっしゃっておいりました。ご検討の程宜しくお願い致します。</p>	<p><b>【商業・住宅建物の高さ】</b></p> <p>鉄道駅前にはまちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。</p> <p>また、建物低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。導入するテナントや植栽等の施設計画については、商業・住宅建物の具体的な設計の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p> <p><b>【駅前広場の再整備について】</b></p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。〈東急〉</p> <p><b>【近隣住民への周知について】</b></p> <p>これまでの再整備基本計画の素案公表や原案（案）公表、説明会開催、市民意見募集にあたっては、広報よこはま青葉区版やホームページへの掲載、自治会・町内会単位でのチラシ回覧、区内複数箇所へのチラシ配架などの周知を行ってきました。今回の原案公表においては、従来の周知方法に加え、再整備基本計画区域から一定程度離れたエリアを対象に各戸配布を行っています。また、令和4年5月にはご意見を伺うコミュニケーションの場として藤が丘ショッピングセンター内に「藤が丘まちづくりステーション」を開設しました。今後も、より一層幅広く知っていただけるようできる限りの周知を図っていきます。〈横浜 市・東急・昭和大学〉</p>
<p><b>62</b></p>	<p>マザーズの営業継続を希望します。</p> <p>この店でしか購入できない品物もあります。</p> <p>近くにオーガニックスーパーがあるのは、心強いです。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
<p><b>63</b></p>	<p>横浜市青葉区、「藤が丘商店会の要望書に賛同し、まちづくりの在り方と藤が丘の再整備計画の見直しを求めます。」</p>	<p>意見No10の回答参照</p>
<p><b>64</b></p>	<p>マザーズというスーパーがなくならないようご検討下さい。オーガニックの野菜や無添加のお惣菜・パン等、体に良いものがたくさん売っています。</p> <p>ウィルスに打ち勝つ為にも、終息した後でも必ず需要が増加すると思います。よろしくお願いいたします</p>	<p>商業・住宅建物の低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。具体的なテナントのご要望については、商業・住宅建物の店舗計画検討の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>
<p><b>65</b></p>	<p>先日の説明会に出席させていただきましたが、整備の趣旨に相反すると感じたため意見を提出させていただきます。</p> <p>①駅前ロータリーの出入り位置の変更</p> <p>予定図では出入口が一カ所になっているが、道幅の広い道へ二カ所以上の出入口を整備して欲しい。</p> <p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅の狭い道路に車両の出入りが集中することで渋滞が予想されるため。</li> <li>減速する必要がある交差点まで距離が短いだけでなく、業務上停車する車両があり、渋滞が発生しやすくなることは容易に想像ができる。</li> <li>・渋滞を避ける為、他の道（当マンション前）を裏道として利用する車両の増加が予測できるため。</li> <li>裏道はスクールゾーンであるが、見通しの悪い箇所もあるためグリーンベルト帯となっている。道を急ぐ危ない車両もあり、児童のみならず地域住民への危険増加はあってはならない。</li> <li>・車両増加により昭和への救急車両の妨げとなる可能性があるため。</li> </ul> <p>②ショッピングセンター跡地の高層マンションの高さの改善</p> <p>新たな駅前の顔に、高度を利用することの必要性を全く感じられない。</p> <p>藤が丘の顔は駅前の開放的な景観そのものであり、それが都心から離れた各駅停車の駅「藤が丘」の〈売り〉でもある。仮に建築物で表現したいのであれば、もう一つの顔である新たな昭和で充分と思われる。周辺の建物とのバランスを考えた高さで良いのではないか。複数の地権者のご希望も同じであるのか公表いただきたい。</p> <p>高層化は収益を出すためであるのは誰でも分かることではあるが、必要以上の高さを出し収益を生む安易な考えを見直し、新たな収益モデルを模索し続けることが必要です。</p> <p>高層化に対して多くの人が異議がある（反対）と分かっているが、改善する案が出ないのはあまりに不自然です。</p> <p>横浜市（青葉区）は周辺住人の高層化に対する意見をきちんとヒアリングし、責任を持って街づくりを進めてほしい。</p>	<p><b>【駅前広場の再整備について】</b></p> <p>駅前広場の再整備については、歩行者と車両の錯綜を無くし、安全で快適な歩行動線の確保をするため、車両の出入口は集約し、入口と出口の2箇所とする計画としています。また、地域の皆さまから多くのご要望をいただいたため、関係機関との協議を踏まえ、出入口は北側から道路幅の広い東側（鴨志田240号線）に変更しました。〈東急〉</p> <p><b>【商業・住宅建物の高さ】</b></p> <p>鉄道駅前には、まちの魅力向上と持続的な成長に資する「住まう機能（住宅）、にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」が必要と考えています。</p> <p>加えて、地域の快適でゆとりある生活環境の創出のために開放的で良質なオープンスペースや緑地を確保しながら、「住まう機能（住宅）」だけでなく、「にぎわい機能・暮らしを支える機能（商業・誘導用途）」を一定量設けるためには、床面積の確保と一定の高さ緩和による建物の集約が必要です。前述の機能に必要な容積を確保しつつ、建物の高さを低くすると、建築面積が増え横長の建物形状となり、日影や圧迫感など周辺への影響が大きくなることから、可能な範囲で建築面積を最小化した現計画の建物形状が最適であると考えています。</p> <p>なお、現計画には公的な資金や補助の活用は前提としておらず、民間の自主建て替え事業ですが、建物内には地域にお住いの皆さまに望まれる暮らしを支える機能（誘導用途）を一定程度設ける計画としており、採算性のみを追求した建物ではありません。</p> <p>また、建物低層部には、地域ニーズを踏まえた魅力的な店舗や文化・地域交流に資する場、生活利便・生活支援施設等を誘導していきます。導入するテナントや植栽等の施設計画については、商業・住宅建物の具体的な設計の際に参考とさせていただきます。〈東急〉</p>

<p><b>66</b> 「病院公園にぎわい施設一体化には反対です。」</p> <p>病院は病院（しかも急性期病院です）であって、図書館や遊び場、カフェではありません。</p> <p>なので、公園一体型、周り緑、駐輪場等各种施設は止めて、現在の様に道路、塀で仕切り病院は病院のみで独立させて欲しいと思います。（入口は現在同様前スペースでタクシー等入れるのはよいと思います。）</p> <p>病院に患者、医師等関係者以外を集めるのは反対です。</p> <p>区切る事で敷地内と外をちゃんと分けた方が責任問題、救急車を呼ぶ呼ばない、その他明確になって良いと思います。</p> <p>（理由は下記）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>現在の様に道路、塀で仕切って病院の敷地を明確にする事で、管理、責任問題 等余計な事を考えず、訴訟リスクを減らし経営を安定させる。病院がつぶれたり、医師に過負荷でリスク高くなったら、患者、地域住民は困る。</li> <li>他の施設が付く事で病院が人混みになったら、歩きにくいし、疲れる。（特に障がい者には） <ul style="list-style-type: none"> <li>→人が多ければ接触転倒、感染等リスク、トイレやエレベーター等混雑し動き辛い。特に公園や病院以外の施設では、子供が多く、後ろから走って来て杖突き飛ばされたり、ボールが飛んで来たりリスク高くなる。そうでなくても、具合が悪い、特にでなく定期通院だとしても、現在の様にゆったりした静かな空間の方が安心していられる。</li> </ul> </li> <li>患者、医師等関係者以外の人は、なるべく入らない様にする事で、院内の安全性、清潔性等を確保する。特に今回のコロナの様な時は、通常以上に必要以上に人を寄せず感染リスクを減らす。</li> <li>病院以外の余計な施設が付く事で、目的地（受付、診察室等）へ行く動線が不便になる。たとえエレベーター等付けたとしても広くなる＝距離が遠くなるのは、不便。（特に障がい者や年寄）</li> <li>現在の様に道路が周りにあり、敷地内にもスペースがある事で、救急車が入り易い、待機する場所が数か所ある。敷地内にスペースやドアがある事で、今回のコロナ市中感染等の時に、入口を分けた動線が確保出来る。</li> <li>災害時等にトリアージする時も、敷地が明確な事で、中と外（治療、帰宅）ではっきり分けられる。</li> <li>周りに木、土等がある事で、感染リスク、アレルギー、虫、ほこり等汚れ他リスクが高くなる。現在の様に道路で分かれてある程度の距離がある事で、開放感、緑等の恩恵は受けられ、リスク少ない。</li> <li>駐輪場が中に出来たら、人の出入りが院内に入り危険。特に朝急いでいたり。</li> <li>院内エレベーター使用も止めて。駅への近道等に使われては危険。</li> <li>病院は駅前で、裏公園だと治安が不安。現在は駅前が明るいので公園の怖さは気にならないし、病院の明るさがある。病院の先が公園になってしまうと、夜帰宅 時、救急で行くとき等暗くて怖い。街灯があったとしても、駅前にドーンと高い建物で裏に公園は暗い。今は塀なので人が出てこない安心感はあるが、一体化で回りが木ではどこから襲ってくるか分からず怖い。公園も、今の様に囲って欲しい。</li> <li>公園と一体や、遊歩道では雨、雪が降った時等、積もって歩き辛い。現在は道路で車等通るからまだ良いが。また、公園の土でぐちゃぐちゃのを院内に持ち込んで掃除も大変。</li> <li>地震、台風、雷落ちたりで木が倒れたり火事になったり周りが木では危険。塀も地震時リスクはあるが、そこは基準に則りとか、周りを広く、人少なく等や、塀なら危険かもと離れる行動を予測できるが木だと考えずに近く歩くとか。強風多いので倒れたりリスクがより高い。現在の八重桜位離れていればまあまあかも知れませんが。</li> </ol> <p>（要望代替え等は下記）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>本来であれば、現在の位置で建て替え可能ならばそれが一番良いと思います。例えば、現在の病院の先の雨水貯水の駐車場側辺りが、建物建てられる基準になるのであればその辺り、場所が少なければ、救命からとか外来からとか部分的から。 または、公園、その他に仮設を作ってリハビリ病院も使用しながら機能のある程度保ち、現在の位置に新しい病院を建てる。経営的に無理なら、残念ですが、公園と交換は仕方ないとしても、現在の形で道路等で分け単純に交換な感じにして欲しいと思います。</li> <li>にぎわい公共施設は公園の先、または、駅前商店ビルの近く等、病院と離して欲しい。</li> <li>病院が駅前だと、駅前だけになってしまうので、個人商店等は充実出来る様に、商店側が歩きやすくなるのは良いと思います。</li> </ol> <p>（質問他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院は線路寄りに奥に建てられて線路側が入口で、現在の入口のある通りには無いのでしょうか？現在と同じ道路側からの入口が良いと思います。電車ばかりでなく（乗降客が少ない？）、地域住民やタクシー等で来る方も多と思うので。</li> <li>・病院の駐車場は、現在の様に病院の裏（市ヶ尾側）に出来るのでしょうか？現在の感じは良いと思います。</li> <li>・駅前デッキ（病院と駅と商店？）は不要と思われますが、何のために作るのでしょうか？屋根があって濡れずに移動とか？でも、高い位置にあるので院内に入るには、一旦下に降りるのでしょうか？もし、病院に入り易い様にとかならば、駅と商店は繋いでも病院には繋がらないで欲しいです。病院が通り抜け道になってしまうと色々リスク高くなるので反対です。</li> </ul>	<p><b>【病院建物の計画について】</b></p> <p>病院建物の低層部には、にぎわい交流施設等の配置により利用者がにぎわいを楽しみながら憩い、安らげるような快適な空間の形成を検討しています。地区全体で連続した魅力ある空間づくりを目指しており、用途ごとに敷地を明確に分離はしませんが、いただいたご意見のとおり、病院敷地内において病院利用者と他の施設の利用者の動線ができるだけ交錯しないよう配慮した計画とします。</p> <p>また、横浜北部地域の中核的な病院として、地域の皆様への医療を提供や救急指定病院や災害拠点病院としての役割を継続して担うためには、既存病院を残しつつ、新病院を整備する必要があり、既存位置での建て替えが困難な状況です。</p> <p>病院の入口は、いただいたご意見の通り現在と同じ北側1階にメインエントランスを設ける計画としており、駐車場は南北からの入館ができるようアクセス性に考慮し病院の東側（市ヶ尾側）の地下に計画しています。</p> <p>移転後の公園については、谷本公園プロムナードに面して配置するとともに、病院敷地内のオープンスペースと接続することでアクセス性や利便性に最大限配慮するとともに、病院敷地内のオープンスペースと一体的に整備することでより皆様にご利用いただきやすい環境整備を図ります。</p> <p>公園の整備にあたっては、段差のない平場の空間を多く確保し、遊び場や地域活動等、現在の日常的な利用が継続できるよう機能確保を図るとともに、遊具や樹木の適切な配置により園内の見通しや安全性に配慮します。〈昭和大学〉</p> <p><b>【駐車場の位置について】</b></p> <p>駐車場は病院建物の東側に配置し、駐車場の出入口は北側、南側の2か所で計画することでアクセス性に配慮しています。なお、救急車や物品搬送車の動線は前述の一般車両とは別に設けることで出入口の混雑回避を図ります。〈昭和大学〉</p> <p><b>【歩行者デッキについて】</b></p> <p>歩行者デッキについては、素案意見募集等でいただいたご意見等を踏まえ、計画を取止め、駅前から広場・公園へつながるにぎわい軸と回遊軸による地上レベルを主動線とする歩行者動線を計画しています。</p> <p>その他のご提案・ご意見等は今後計画を進めていく上で参考にさせていただきます。〈昭和大学〉</p>
--	---

<p><b>67</b> 2021年4月16日説明会に出席させて頂きました。質問と提案をさせていただきます。</p> <p><b>【質問】</b></p> <p>1 藤が丘らしさということに質問が出ていましたが、回答がよくわかりませんでした。気持ちでなく、具体的にどういう形で計画に盛り込まれていますか？</p> <p>2 人にやさしい。今までと違う何か具体的な計画は入っていますか？</p> <p>3 病院と公園の位置が入れ替わったのはなぜですか？メインの入口位置があまり変わらなければ元の位置でもよいように感じます。立て替えの都合でしょうか？</p> <p><b>【希望及び提案】</b></p> <p>1 藤が丘らしさ 藤が丘駅が出来た時、間もなく感じたことは家庭的な雰囲気です。駅のロータリーに人を送って来る車や家族、友人を迎えに来る車など今も多くあります。青葉台やタマプラザの様な商業色は弱いけど、商業施設や住宅が程よく混ざっているのが藤が丘です。また駅前の道路向かいに公園があるのも雰囲気を良くしていました。現在のロータリーの状況が維持されることを願います。タクシー、バス待ち、なども便利です。</p> <p>2 全体計画 ひとつの提案として病院及び公園でなく、緑豊かな公園の中に病院がある感じがいいですね？東にメイン公園、西にサブ公園、中央南に緑に囲まれた病院の高層建物。病院への車路の上を東と西を歩行者用ブリッジでつなぐ。メイン公園への通路をを雰囲気の良い散歩道でつないでほしい。公園が隠れないようにしてほしい。</p> <p>3 プロムナード ペDESTリアンデッキや回遊軸はバースでは直線の様ですが、曲線を入れて不規則な形の方が癒される感じが出ると思います。またデッキも回遊軸も樹木など日影が出来ることで人にやさしい街づくりが出来ると思います。近辺では都筑区の公園は癒しの空間が出来ていると思います。回遊軸はベンチのある癒しのプロムナードになるといいですね。高低差については機械式だけでなく緩やかな楽しいスロープを望みます。</p> <p>4 地下水 現在病院の位置は地下部分に地下水が湧き出ています。ポンプアップして下水に流すことになると思いますが、ポンプを使うなら少し高いところまで上げて小さな滝をつくり見せ場と水の音が聞けたらいいと思う。</p> <p>5 ベンチ ベンチは石でなく木製の昔ながらの形が座り心地がいいです。石は耐久性あるけどやさしさは木製です。メンテはかかりますが。</p> <p>6 病院 病院についてはロビーや待合室などから公園の緑が見えるなど、少しでも明るい気持ちになれるようにお願いします。高層なら屋上緑化して軽度の患者と見晴らしの良いところで談話が出来るといいです。</p> <p>一言でいえば、人が癒される空間造りを希望します。最近の同じようなもの（金属で出来た直線的な仕上げ）でなく人々が気持ちよく楽しい雰囲気で生活できる街づくりでありますようお願いいたします。</p> <p>人にやさしい藤が丘の街をご検討ください。</p> <p>公園の大木は残してください。大木は歴史を感じさせます。昔の面影が跡形もないまちが増えていきます。100年後の人々にも残せる計画をお願いします。</p>	<p><b>【藤が丘らしさについて】</b></p> <p>これまでに開催したワークショップ等では、藤が丘らしさとは、駅前の空の広がりや緑豊かな空間や、病院のあるまち、というご意見を多くいただきました。それらの藤が丘らしさを継承しつつ、「豊かな緑に囲まれ、人にやさしく、多世代が元気に暮らせるまちづくり」をまちづくりのテーマとし、駅周辺に「ホッとする」居場所づくり、地域交流機能の充実、快適で歩きたくなるまちを実現していきたいと考えています。</p> <p>また、人にやさしいとは、バリアフリーに配慮した環境・空間を形成することと考えています。今回の計画では、地区全体の歩行動線は地上レベルを主動線としており、駅前広場については車両と歩行者の交錯を減らす改修を行い、道路については一部歩道を拡幅することや歩道に沿ってオープンスペースを設け、歩道と一体的な設えとすることで、安全で快適な歩行者空間を確保します。計画建物については福祉のまちづくり条例をはじめとする関係法令に則った計画とします。（横浜市・東急・昭和大学）</p> <p><b>【公園の再整備について】</b></p> <p>藤が丘病院の建替えにあたり、現在の医療機能を停止することなく新病院へと移行するためには、既存病院を残しながら先行して新病院を建設し、移転する必要があります。限られた敷地の中で、スムーズな移転を実現するには各施設の再配置が必要であり、藤が丘公園は移転が生じますが、移転後の公園についてもアクセス性や利便性に最大限配慮するとともに、病院敷地内のオープンスペースと一体的に整備することでより皆様にご利用いただきやすい環境整備を図ります。（昭和大学・横浜市）</p> <p>現公園の樹木については、移植する樹木や場所等の詳細について引き続き横浜市と協議していきます。（昭和大学）</p> <p><b>【ご希望及びご提案について】</b></p> <p>いただいたご希望及びご提案等については、今後計画を進めていく上で参考にさせていただきます。（横浜市・東急・昭和大学）</p>
--	---